



「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23

経験を通して学ぶことの 意味を考える

🌸 調査結果からわかること 🌸

2024年4月15日(月)

ベネッセ教育総合研究所



● 本資料の目的

子どもたちの「経験」の実態を明らかにするとともに、「チャレンジングな経験」に関連する要因を検討することで、子どもたちの健やかな成長をもたらす環境のあり方を考えるための参考にする。

● 内容

調査概要【p.3】

調査結果のまとめ【p.4】

1. 子どもの「経験」の実態【p.5】

- ① 1年間で経験したこと－経年比較（その1）【p.5】
- ② 1年間で経験したこと－経年比較（その2）【p.6】
- ③ 1年間で経験したこと－学年比較（その1）【p.7】
- ④ 1年間で経験したこと－学年比較（その2）【p.8】
- ⑤ 1年間で経験したこと－学校段階別【p.9】

2. チャレンジングな経験の定義【p.10】

- ① チャレンジングな経験－5種の経験【p.10】
- ② チャレンジングな経験－2群に分類【p.11】
- ③ チャレンジングな経験に関連する要因【p.12】

3. チャレンジングな経験と資質・能力【p.13】

- ① 興味の追究との関連【p.13】
- ② 粘りづよさとの関連【p.14】
- ③ 挑戦心との関連【p.15】
- ④ 利他心との関連【p.16】
- ⑤ 社会への関心との関連【p.17】
- ⑥ 努力に対する信頼との関連【p.18】
- ⑦ 社会に対する無力感との関連【p.19】
- ⑧ 将来の目標との関連【p.20】
- ⑨ 自己肯定感との関連【p.21】
- ⑩ 今の幸せ実感との関連【p.22】
- ⑪ 将来の幸せ感との関連【p.23】

4. チャレンジングな経験と学習意識・行動【p.24】

- ① 学習時間との関連【p.24】
- ② 授業の楽しさとの関連【p.25】
- ③ 勉強が好きとの関連【p.26】
- ④ 学習意欲の低減との関連【p.27】
- ⑤ 暗記の得意さとの関連【p.28】
- ⑥ 図表理解の得意さとの関連【p.29】
- ⑦ 論理的思考の得意さとの関連【p.30】
- ⑧ 文章理解の得意さとの関連【p.31】
- ⑨ 文章表現の得意さとの関連【p.32】
- ⑩ プレゼンの得意さとの関連【p.33】
- ⑪ 学業成績との関連【p.34】

5. 9年間の追跡【p.35】

- ① 興味の追究の変化【p.35】
- ② 挑戦心の変化【p.36】
- ③ 利他心の変化【p.37】
- ④ 社会への関心の変化【p.38】
- ⑤ 将来の目標の変化【p.39】
- ⑥ 自己肯定感の変化【p.40】
- ⑦ 勉強が好きの変化【p.41】
- ⑧ 学習意欲の低減の変化【p.42】
- ⑨ 学業成績の変化【p.43】

6. 詳細分析【p.44】

- ① チャレンジングな経験と成績の関連【p.44】
 - ② チャレンジングな経験の効果【p.45】
 - ③ 幸せ実感の規定要因【p.46】
- 【参考】 幸せ実感の規定要因（詳細）【p.47】

● 使用したデータ

「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015～23年（東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所による共同実施）。

● 子どもの生活と学びに関する親子調査 詳細は☞ <https://berd.benesse.jp/special/childedu/>

【調査テーマ】子どもの生活と学習に関する意識と実態（子ども調査）/保護者の子育て・教育に関する意識と実態（保護者調査）……同一の親子を対象に2015年から継続して追跡する縦断調査

【調査時期】各年7～9月

【調査方法】調査依頼は各回とも郵送で実施、回収は2015年郵送・WEB併用、16～20年郵送、21年郵送・WEB併用、22～23年WEBによる

【調査対象】各回とも約2万組の調査モニターに協力を依頼、発送数・回収数・回収率は以下の通り

	全体			小1～3生			小4～6生			中学生			高校生		
	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率
2015年	21,569	16,574	76.8	5,504	4,690	85.2	5,080	3,950	77.8	5,379	4,051	75.3	5,606	3,883	69.2
2016年	21,485	15,849	73.8	5,617	4,915	87.5	5,234	3,797	72.5	5,225	3,706	70.9	5,409	3,425	63.3
2017年	19,136	15,307	80.0	5,700	5,167	90.6	4,662	3,643	78.1	4,312	3,311	76.8	4,462	3,186	71.4
2018年	18,217	14,424	79.2	5,408	4,928	91.1	4,634	3,616	78.0	3,977	2,967	74.6	4,198	2,913	69.4
2019年	20,056	15,311	76.3	5,879	5,175	88.0	5,251	4,071	77.5	4,497	3,168	70.4	4,429	2,897	65.4
2020年	20,413	15,656	76.7	5,921	5,127	86.6	5,639	4,407	78.2	4,595	3,323	72.3	4,258	2,799	65.7
2021年	20,471	15,596	76.2	5,829	5,066	86.9	5,704	4,430	77.7	4,812	3,432	71.3	4,126	2,668	64.7
2022年	20,951	13,398	63.9	5,844	4,716	80.7	5,737	3,664	63.9	5,058	2,922	57.8	4,312	2,096	48.6
2023年	21,525	13,201	61.3	5,743	4,583	79.8	5,869	3,489	59.4	5,462	3,070	56.2	4,451	2,059	46.3

※学校段階により回収数に偏りがあるため、全体の分析を行うときは偏りを是正するために重みづけを行った



調査結果のまとめ

1. 子どもの「経験」の実態—コロナ禍で減少していた経験の多くは回復

- コロナ禍では、外出を伴う経験や人と接触する経験が減少しましたが、2023年の段階でコロナ禍前の状態に戻りました【p.5】。これらに対して、必ずしも外出や人との接触が必要ではない経験の多くは、2015年からほぼ横ばいで推移しています【p.6】。
- 「家族で旅行」「自然の中で遊ぶ」「美術館や博物館に行く」「家で季節の行事をする」「地域の行事に参加する」などは、学年が上がるにつれて減少します。一方で、「ボランティア活動」「進路について考える」「疑問に思ったことを深く調べる」などの経験は、学年が上がるにつれて増加する傾向がみられました。子どもの学年によって、経験する内容が変わることがわかります【p.7~8】。

2. チャレンジングな経験の定義—チャレンジングな経験は価値観や学習のさまざまな要因と関連

- たくさんの経験の中から「好奇心・探索の経験」（疑問に思ったことを自分で深く調べる）、「果敢な挑戦の経験」（無理だと思ふようなことに挑戦する）、「夢中・没頭の経験」（夢中になって時間がたつのを忘れる）、「達成・自信の経験」（難しいことができて自信がつく）、「将来を考える経験」（自分の進路（将来）について深く考える）の5つを“チャレンジングな経験”と名づけ、それがどのような要因と関連するか分析しました【p.10~11】。その結果、非認知能力などの資質・能力や社会観・将来観・自己肯定感・幸せ実感などの価値観と関連をもつとともに、学習に関わる意識・行動、認知能力や成績などとも関連していることがわかりました【p.12】。

3. チャレンジングな経験と資質・能力—非認知能力、社会観・将来観、自己肯定感・幸せ実感と関連

- チャレンジングな経験は、興味の追究、粘りづよさ、挑戦心、利他心などの非認知能力と呼ばれる力【p.13~16】、社会への関心、努力に対する信頼、社会に対する無力感（逆転項目）、将来の目標などの社会観・将来観【p.17~20】、自己肯定感、今の幸せ実感、将来の幸せ感などと関連があります【p.21~23】。

4. チャレンジングな経験と学習意識・行動—学習に関する意識・行動や認知能力、学業成績と関連

- チャレンジングな経験は、学習時間、授業の楽しさ、「勉強が好き」、学習意欲の低減（逆転項目）といった学習に関する意識・行動【p.24~27】、暗記、図表理解、論理的思考、文章理解、文章表現、プレゼンなどの認知能力（得意・苦手）【p.28~33】、学業成績と関連があります【p.34】。

5. 9年間の追跡—小4時点でチャレンジングな経験が多いことが、その後の意識・行動にも影響

- 小4時点でチャレンジングな経験が多いかどうかで2群に分けて9年間追跡したところ、高3時点まで一貫して同じ傾向が継続する様子が見られました。小4時点でチャレンジングな経験が多い子どもは、高校生まで非認知能力と呼ばれる力や、社会への関心、自己肯定感などが高く、「勉強が好き」の意識や学習意欲が高い傾向があります【p.35~42】。そうした子どもは、学業成績も中学生くらいまで高いことがわかりました【p.43】。

6. 詳細分析—チャレンジングな経験は勉強が好き、自己肯定感、成績などに影響し、幸せ実感を高める

- チャレンジングな経験と学業成績の関連を時系列で分析したところ、1年前の経験が現在の成績に影響するだけでなく、1年前の成績が現在の経験にも影響していました。両者は相互に影響しあう関係といえます【p.44】。次に、チャレンジングな経験の効果を検討したところ、それは、「勉強が好き」や自己肯定感、成績に影響し、幸せ実感を高めることがわかりました【p.45】。また、チャレンジングな経験は、他の変数を統制しても幸せ実感を高める効果が確認できました【p.46】。

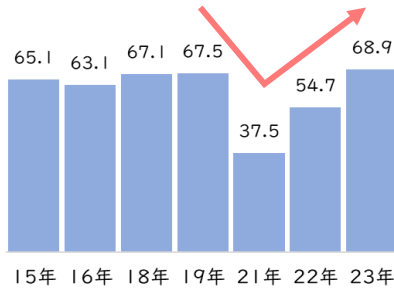


①1年間で経験したこと—経年比較(その1)

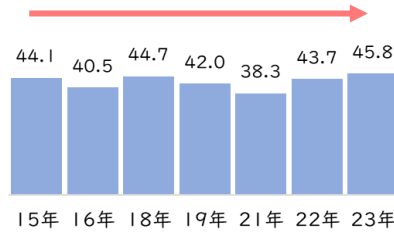
子どもたちの経験はコロナ禍で減少したが、2023年調査の時点でほぼ回復

●1年間で経験したこと(全体①)【2015~23年データ】(%)

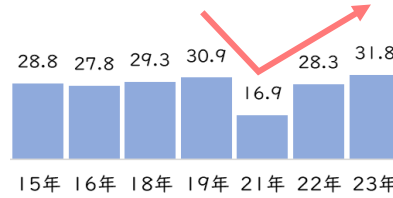
家族で旅行をする



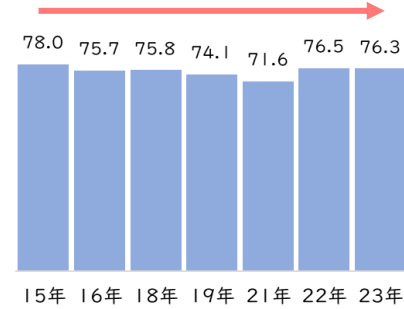
自然の中で
思いっきり遊ぶ



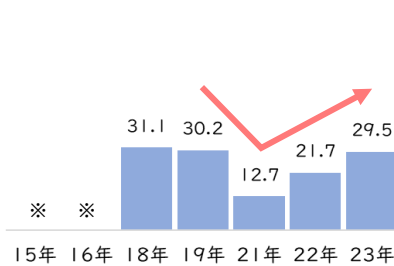
美術館や博物館に行く



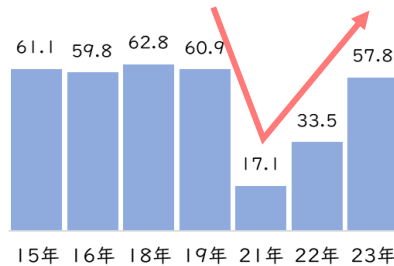
家で季節の行事をする
(クリスマスや節分など)



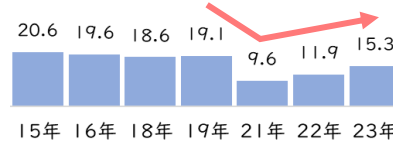
スポーツ観戦に行く



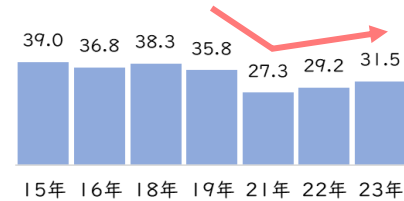
地域の行事に参加する
(夏祭りなど)



ボランティア活動に
参加する



小さい子どもの世話を
する(近所の子どもも含む)



*「この1年くらいの間に、あなたは次のようなことを経験しましたか」という質問に対して選択した比率(複数選択、%)。2017年と20年は質問していない。また、項目によって「※」印の箇所は質問していない。
 *小4~高3生の子どもへの回答。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。

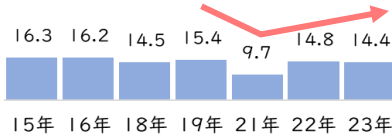


② 1年間で経験したこと—経年比較(その2)

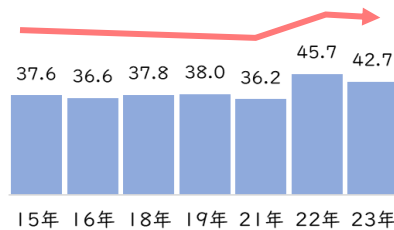
経年では横ばいで推移する項目が多い

● 1年間で経験したこと(全体②)【2015~23年データ】(%)

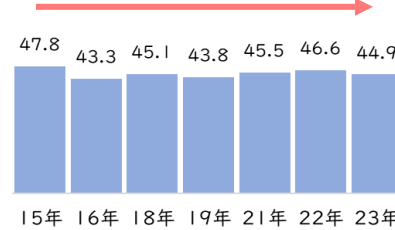
お年寄りの世話をする
(手伝いや介護など)



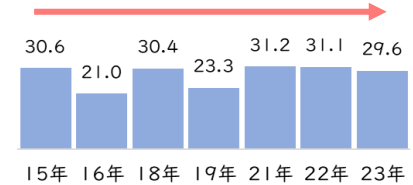
親から仕事の楽しさや
大変さを聞く



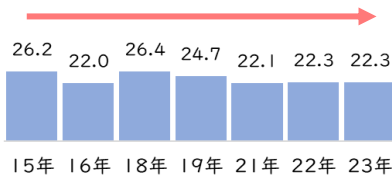
自分の進路(将来)
について深く考える



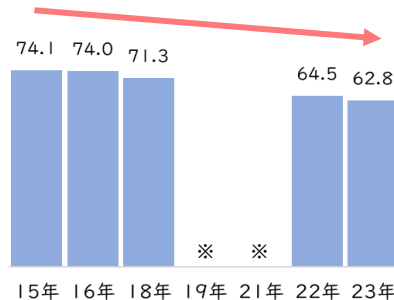
疑問に思ったことを
自分で深く調べる



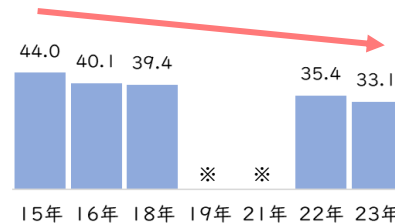
無理だと思ふようなことに
挑戦する



夢中になって
時間がたつのを忘れる



難しいことができて
自信がつく



*「この1年くらいの間に、あなたは次のようなことを経験しましたか」という質問に対して選択した比率(複数選択、%)。2017年と20年は質問していない。また、項目によって「※」印の箇所は質問していない。
 *小4~高3生の子どもの回答。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。

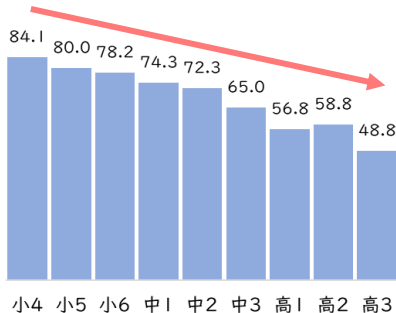


③1年間で経験したこと—学年比較(その1)

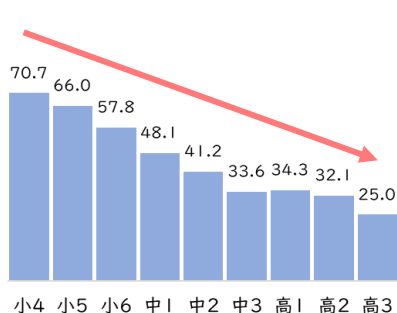
学年が上がるにつれて減少する項目が多い

●1年間で経験したこと(学年別①)【2023年データ】(%)

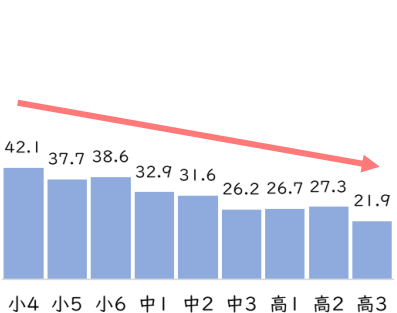
家族で旅行をする



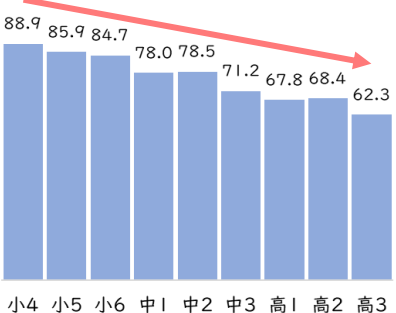
自然の中で思いっきり遊ぶ



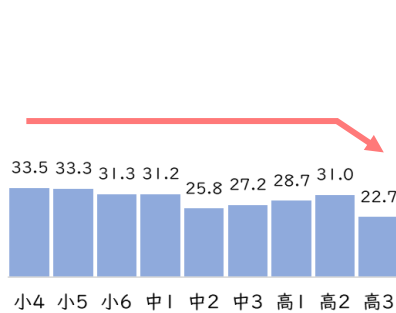
美術館や博物館に行く



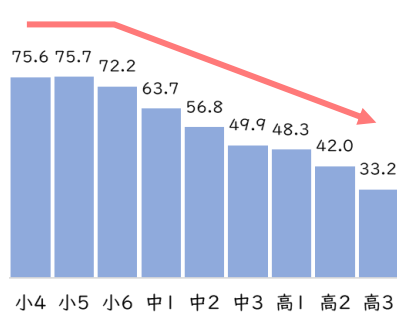
家で季節の行事をする(クリスマスや節分など)



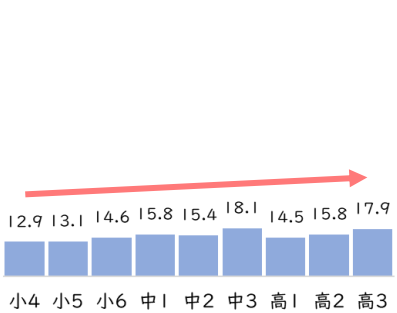
スポーツ観戦に行く



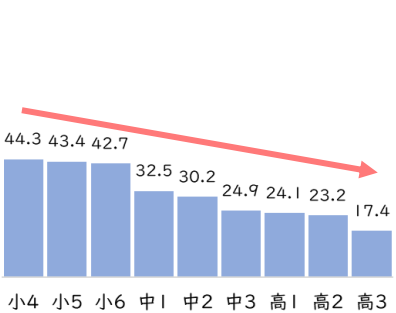
地域の行事に参加する(夏祭りなど)



ボランティア活動に参加する



小さい子どもの世話をする(近所の子どもも含む)



*「この1年くらいの間に、あなたは次のようなことを経験しましたか」という質問に対して選択した比率(複数選択、%)。

*小4~高3生の子どもの回答。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



④ 1年間で経験したこと—学年比較(その2)

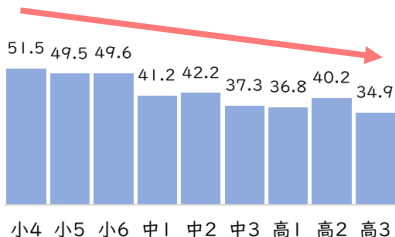
「自分の進路(将来)について深く考える」経験は、学年が上がるとともに増加

● 1年間で経験したこと(学年別②)【2023年データ】(%)

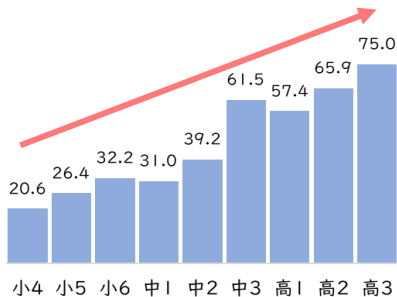
お年寄りの世話をする
(手伝いや介護など)



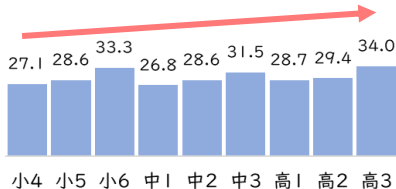
親から仕事の楽しさや
大変さを聞く



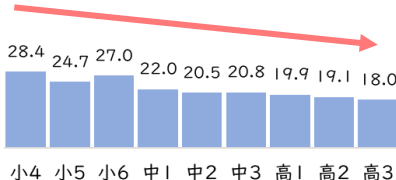
自分の進路(将来)
について深く考える



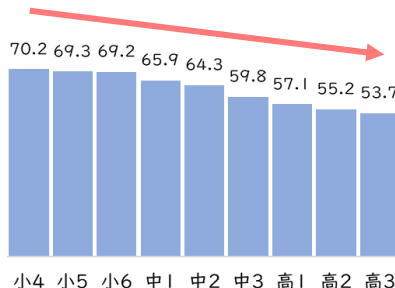
疑問に思ったことを
自分で深く調べる



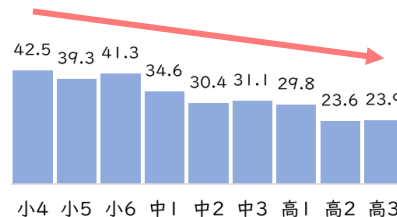
無理だと思ふようなことに
挑戦する



夢中になって
時間がたつのを忘れる



難しいことができて
自信がつく



学校段階ごとの経年変化の
データは次頁に掲載

*「この1年くらいの間に、あなたは次のようなことを経験しましたか」という質問に対して選択した比率(複数選択、%)。

*小4~高3生の子どもの回答。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑤ 1年間で経験したこと—学校段階別

学校段階ごとにみても、コロナ禍のあとに回復している項目が多い

● 1年間で経験したこと（学校段階別）【2015～23年データ】（%）

	小4～6生							中学生							高校生						
	15年	16年	18年	19年	21年	22年	23年	15年	16年	18年	19年	21年	22年	23年	15年	16年	18年	19年	21年	22年	23年
家族で旅行をする	79.0	77.3	80.4	79.5	49.6	65.1	80.9	66.4	65.2	69.9	68.9	37.8	55.4	70.8	49.8	46.7	51.1	54.1	25.2	43.5	55.0
自然の中で思いっきり遊ぶ	63.1	58.7	62.9	60.1	55.0	61.1	65.1	40.8	36.4	42.6	39.1	36.0	40.5	41.5	28.6	26.4	28.6	27.0	23.9	29.6	30.7
美術館や博物館に行く	38.9	36.1	37.5	41.2	23.1	35.8	39.6	27.9	26.4	30.0	28.8	16.0	25.8	30.5	19.6	20.7	20.3	22.7	11.5	23.3	25.4
家で季節の行事をする（クリスマスや節分など）	87.1	86.6	86.2	84.8	81.9	86.1	86.6	79.0	75.9	78.5	75.6	72.2	76.9	76.1	67.8	64.3	62.7	62.0	60.9	66.4	66.3
スポーツ観戦に行く			33.0	32.2	13.7	23.7	32.7			30.4	30.4	12.9	20.0	28.2			29.9	28.1	11.7	21.5	27.6
地域の行事に参加する（夏祭りなど）	82.5	81.9	83.9	81.3	29.7	44.8	74.5	63.8	59.7	66.9	62.8	14.7	31.9	57.3	37.2	37.5	37.5	38.7	6.9	23.8	41.5
ボランティア活動に参加する	19.6	19.4	16.5	17.6	8.5	11.7	13.5	25.2	21.7	22.3	20.4	10.9	12.5	16.4	17.0	17.6	16.8	19.5	9.4	11.5	15.9
小さい子どもの世話をする（近所の子どもも含む）	54.6	51.4	52.3	48.2	41.2	40.7	43.5	37.4	34.3	37.4	33.6	24.6	27.5	29.4	24.9	24.7	25.3	25.7	16.2	19.5	21.7
お年寄りの世話をする（手伝いや介護など）	18.5	19.8	15.9	18.3	10.9	16.8	16.4	16.2	15.1	15.7	14.2	10.1	13.1	13.6	14.1	13.8	11.9	13.8	8.0	14.3	13.1
親から仕事の楽しさや大変さを聞く	39.3	42.7	44.2	46.0	40.0	51.9	50.3	35.3	33.6	36.4	35.1	34.7	44.1	40.4	38.3	33.6	32.9	33.0	33.8	41.0	37.3
自分の進路（将来）について深く考える	28.0	24.7	28.0	28.1	24.8	27.9	26.1	45.1	40.8	41.4	39.9	43.1	43.2	42.9	70.4	64.6	65.8	63.5	68.6	68.6	65.7
疑問に思ったことを自分で深く調べる	27.7	21.8	29.1	23.8	29.1	31.4	29.6	29.1	19.0	30.6	22.1	30.6	30.7	28.8	35.1	22.1	31.5	24.0	34.0	31.2	30.5
無理だと思ふようなことに挑戦する	33.8	30.7	35.1	33.9	27.0	26.0	26.8	24.1	18.9	24.7	22.7	22.1	20.7	21.1	20.9	16.2	19.4	17.5	17.2	20.3	19.0
夢中になって時間がたつのを忘れる	79.3	79.8	77.5			70.9	69.6	73.5	73.7	73.1			65.2	63.5	69.6	68.3	63.2			57.4	55.4
難しいことができて自信がつく	54.6	52.3	49.8			43.6	41.1	41.8	37.4	40.1			34.4	32.2	35.6	30.6	28.1			28.4	25.9

*「この1年くらいの間に、あなたは次のようなことを経験しましたか」という質問に対して選択した比率（複数選択、%）。2017年と20年は質問していない。また、斜線の箇所は質問していない。

*小4～高3生の子どもの回答。

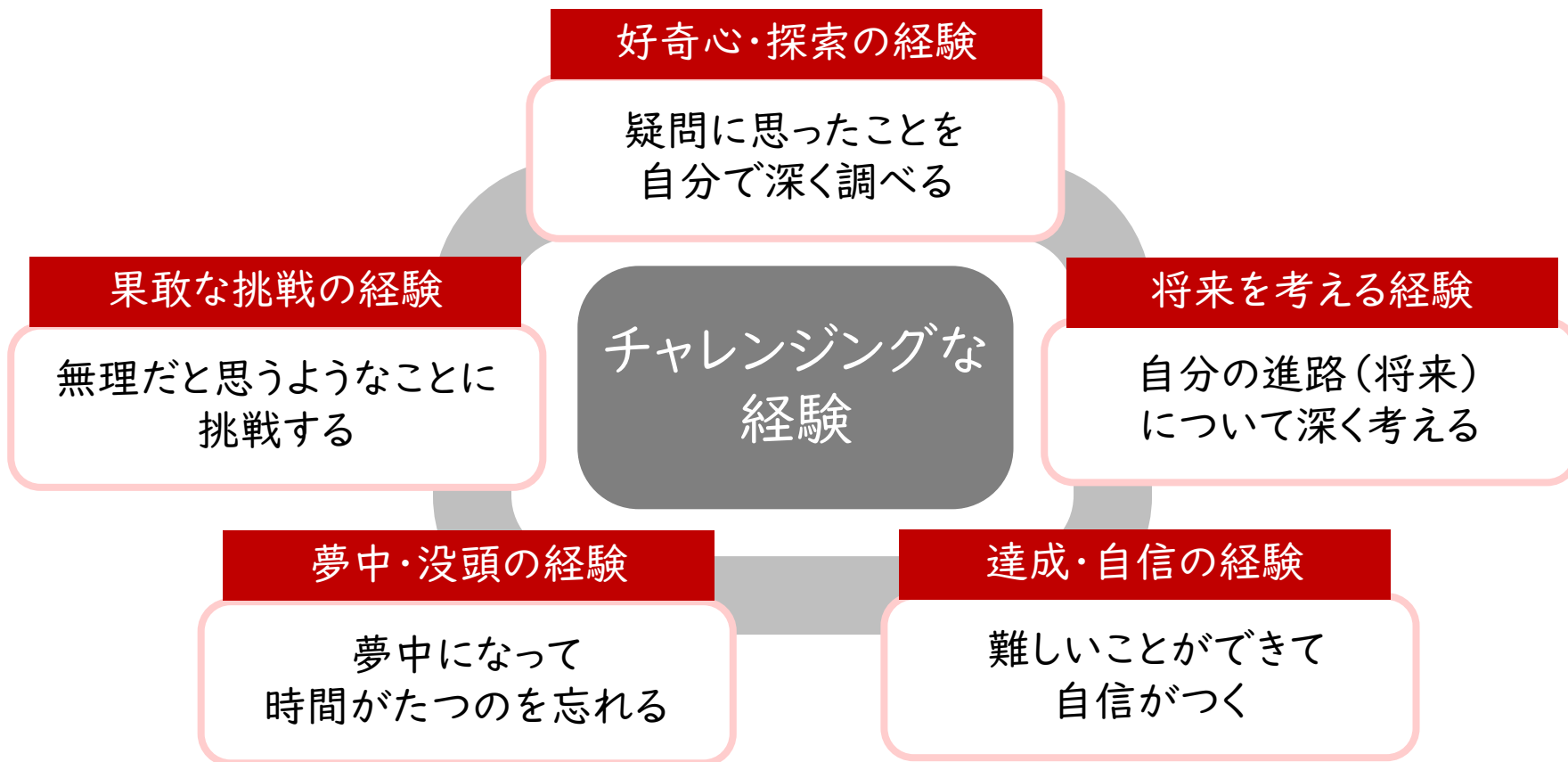
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015～23年。



①チャレンジングな経験-5種の経験

子どものチャレンジングな経験を示す指標として5種の経験に注目

●チャレンジングな経験-5種の経験



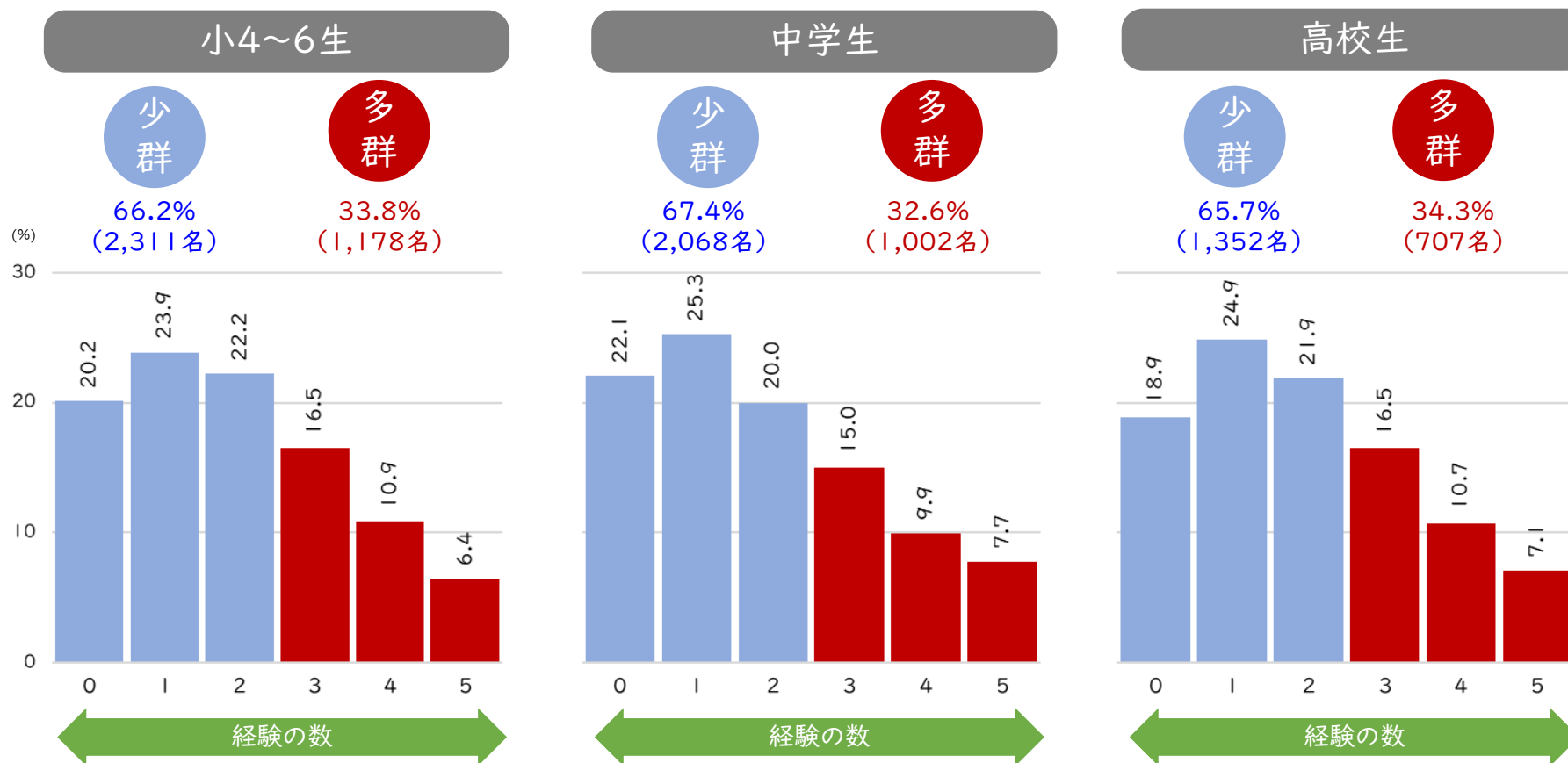
●次頁以下では、5種の経験の多さを「チャレンジングな経験」として設定し、他の要因との関連を分析



②チャレンジングな経験-2群に分類

学校段階ごとに5つの経験の数によって少ない群と多い群の2つに分けた

●チャレンジングな経験（経験の数の分布）【2023年データ】（%）



*前ページの5つの経験について、「あり」を1、「なし」を0として経験の数を合計した。

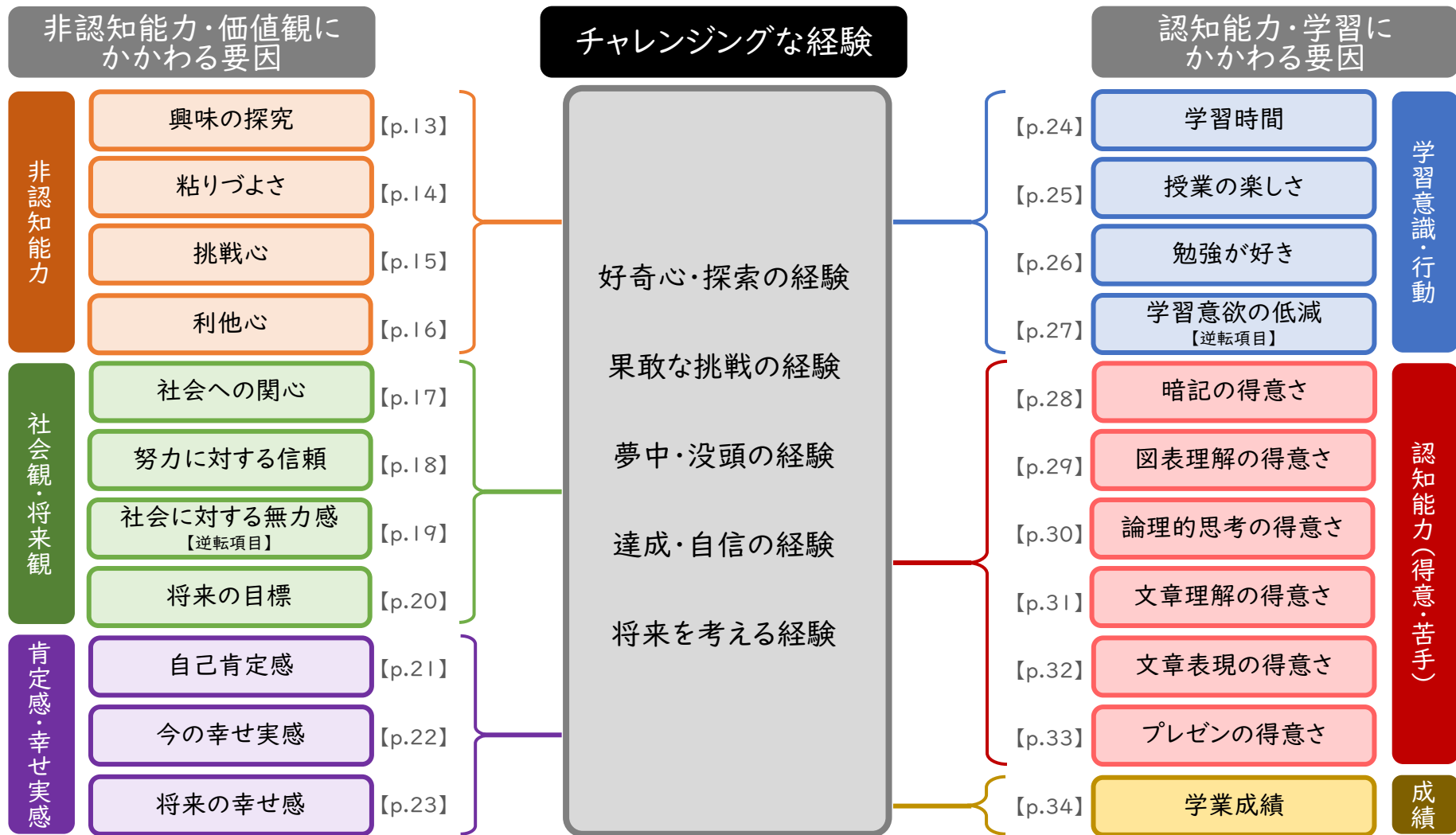
*経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



③ チャレンジングな経験に関連する要因

チャレンジングな経験は、価値観や学習のさまざまな要因と関連がみられる

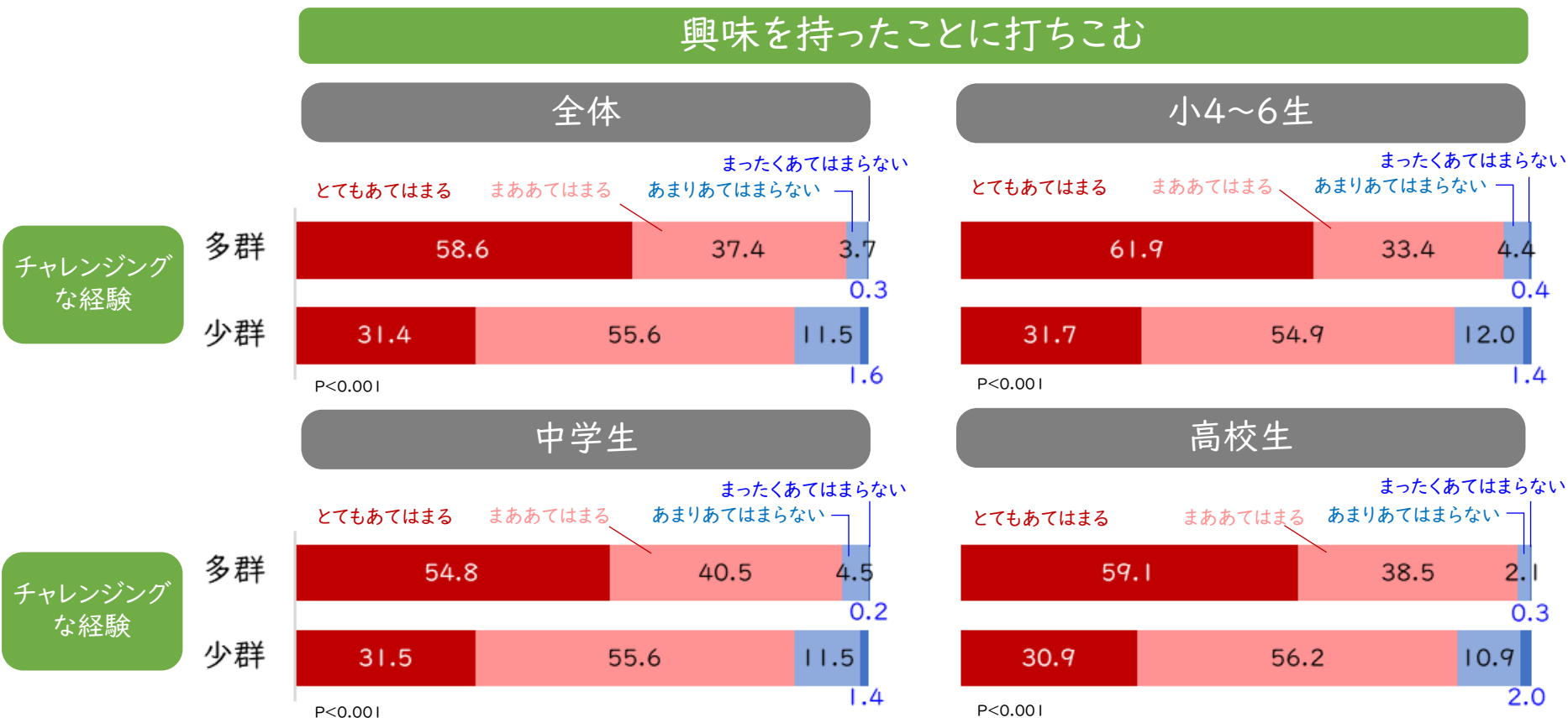




① 興味の追究との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「興味を持ったことに打ちこむ」を肯定

● 興味の追究 (チャレンジングな経験別) 【2023年データ】 (%)



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。
 *興味の追究は、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「興味を持ったことに打ちこむ」に対する回答。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

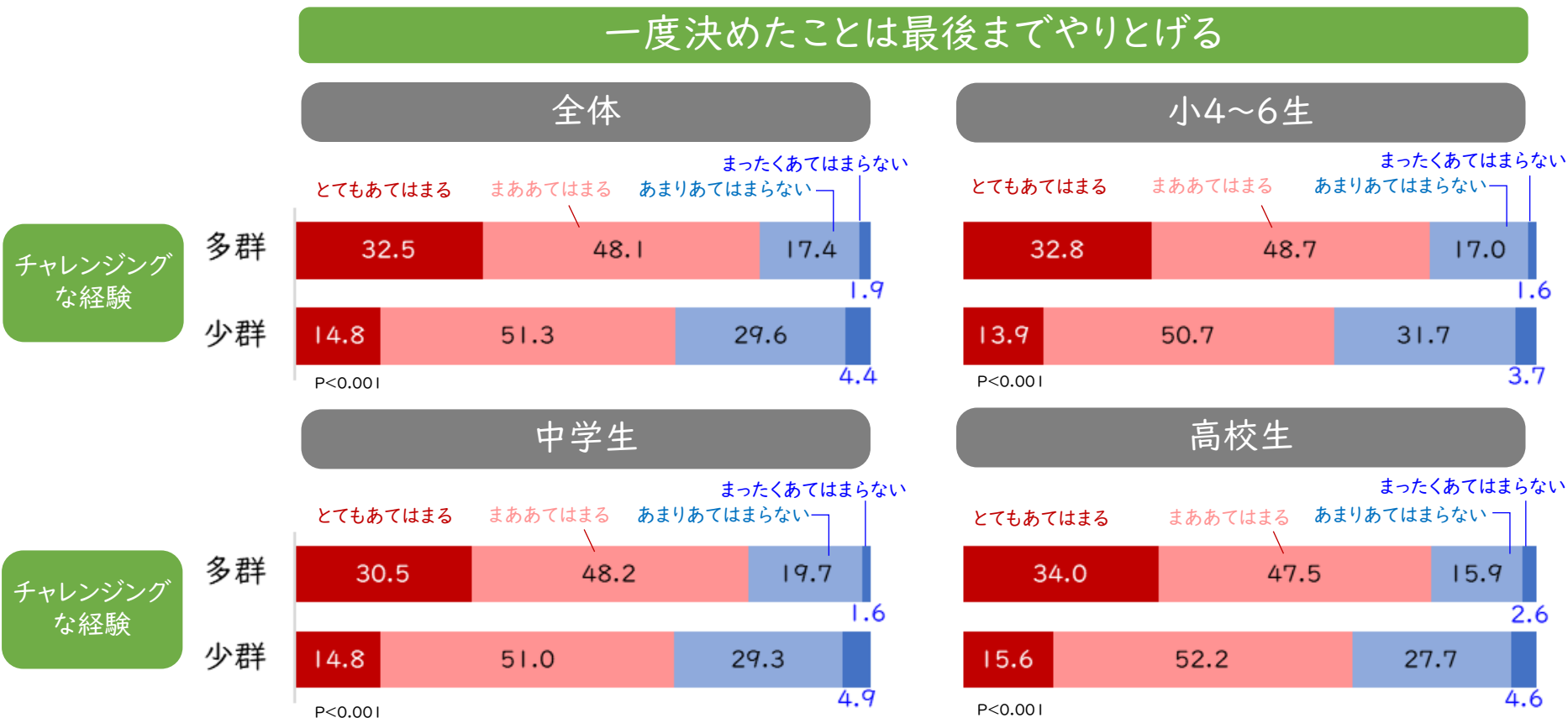


②粘りづよさとの関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「最後までやりとげる」を肯定

●粘りづよさ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

一度決めたことは最後までやりとげる



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。
 *粘りづよさは、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「一度決めたことは最後までやりとげる」に対する回答。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



③ 挑戦心との関連

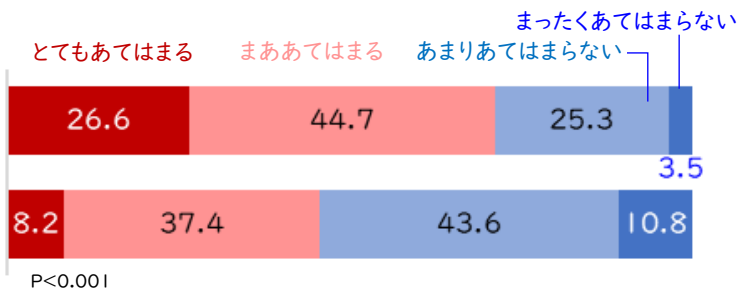
チャレンジングな経験が多い子どもは、「挑戦したい」を肯定

● 挑戦心(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

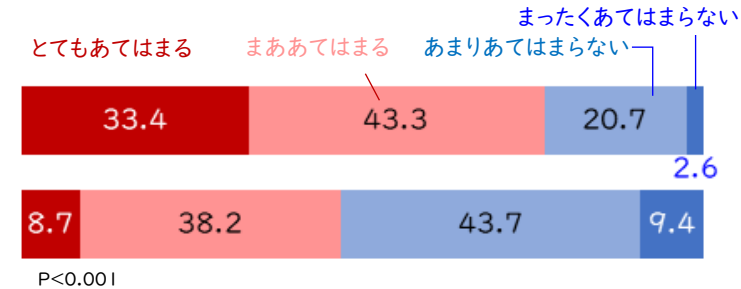
難しいことや新しいことにいつも挑戦したい

全体

チャレンジングな経験

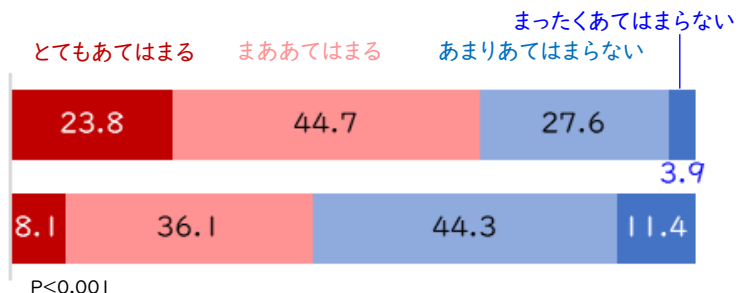
多群
少群

小4~6生

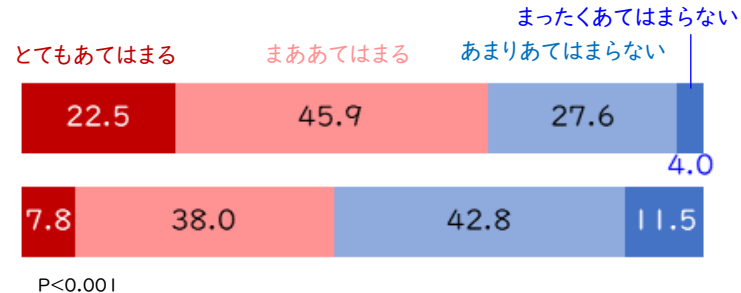


中学生

チャレンジングな経験

多群
少群

高校生



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*挑戦心は、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「難しいことや新しいことにいつも挑戦したい」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

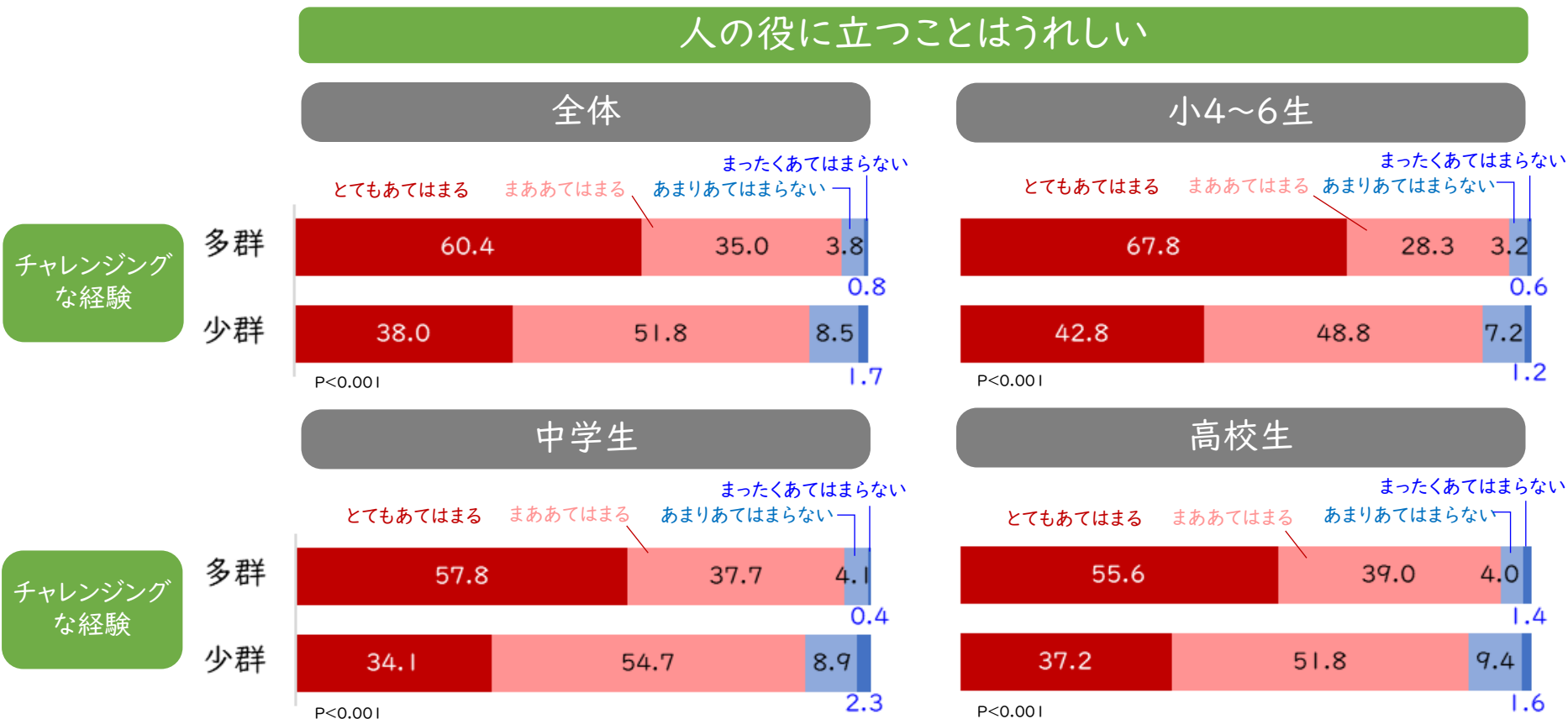
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



④利他心との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「人の役に立つことはうれしい」を肯定

●利他心(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*利他心は、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「人の役に立つことはうれしい」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

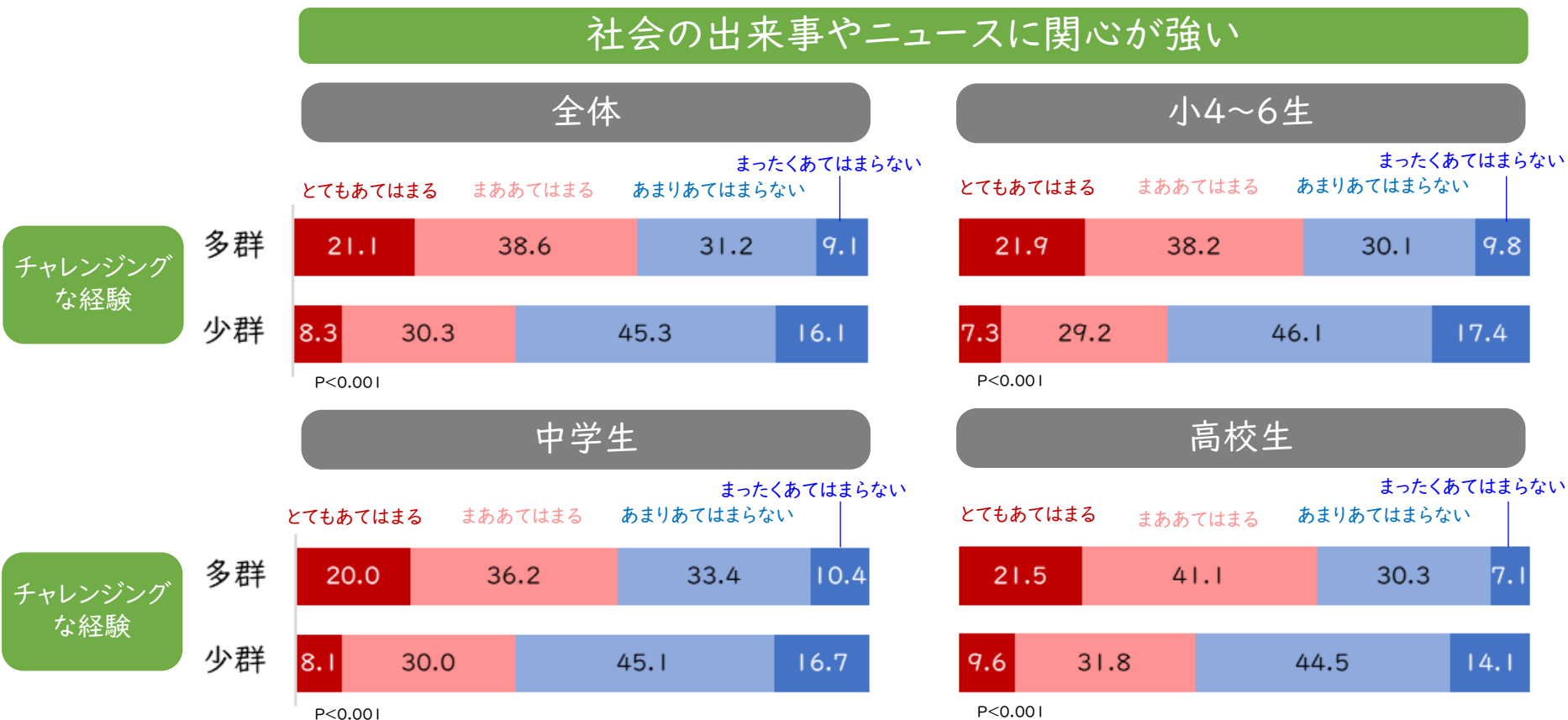
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑤ 社会への関心との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「社会に関心が強い」を肯定

● 社会への関心（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）



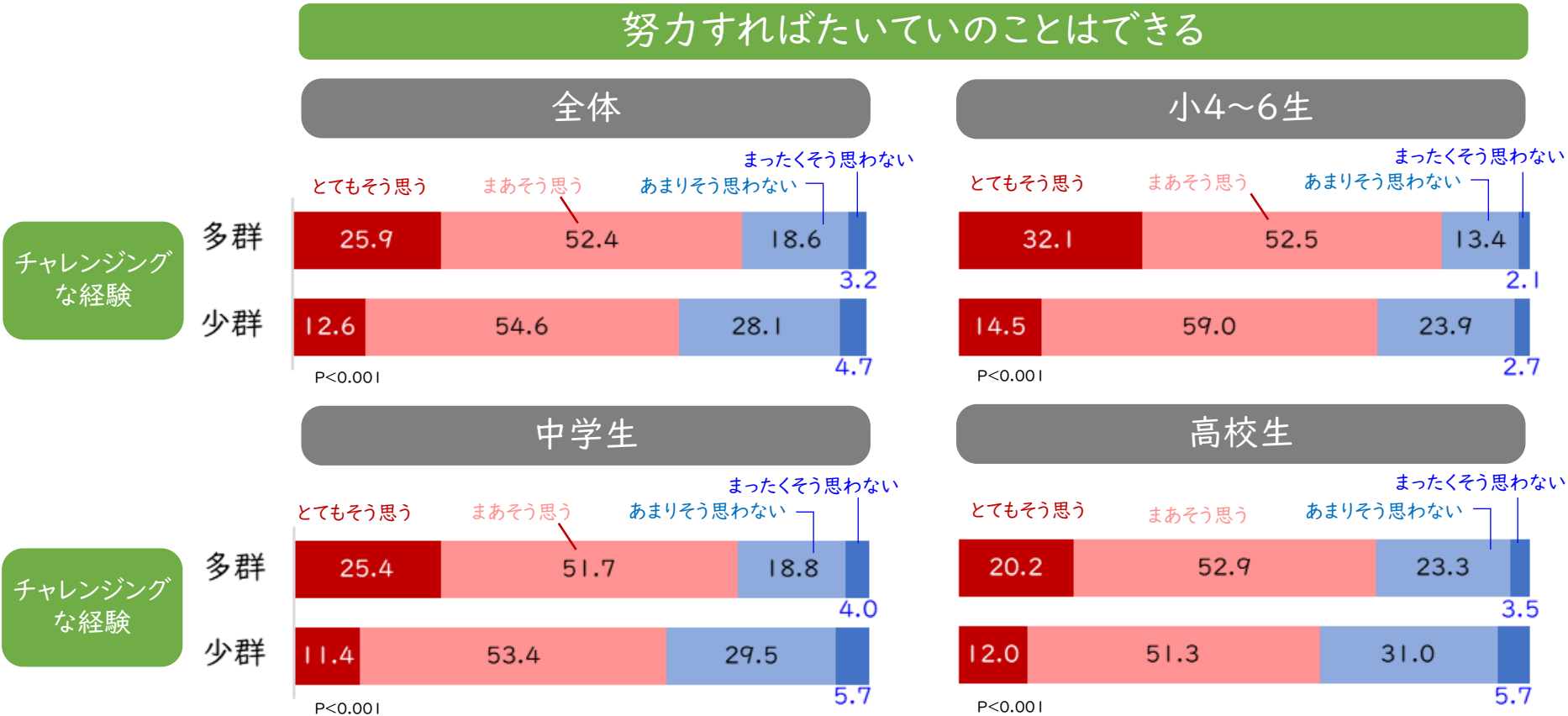
*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。
 *将来の目標は、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「社会の出来事やニュースに関心が強い」に対する回答。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑥ 努力に対する信頼との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「努力すればたいていできる」を肯定

● 努力に対する信頼（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*努力に対する信頼は、「あなたはこのことについてどう思いますか」という質問の「努力すればたいていできる」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑦社会に対する無力感との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「社会を変えることはできない」を否定

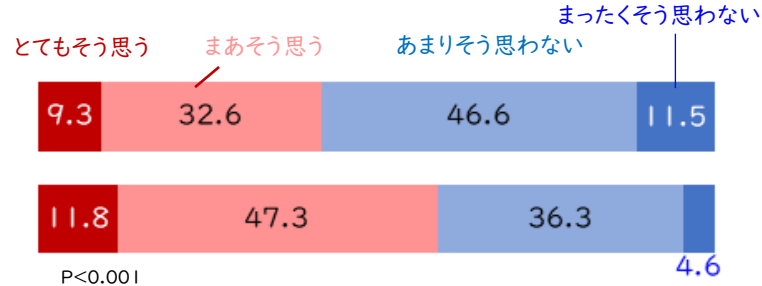
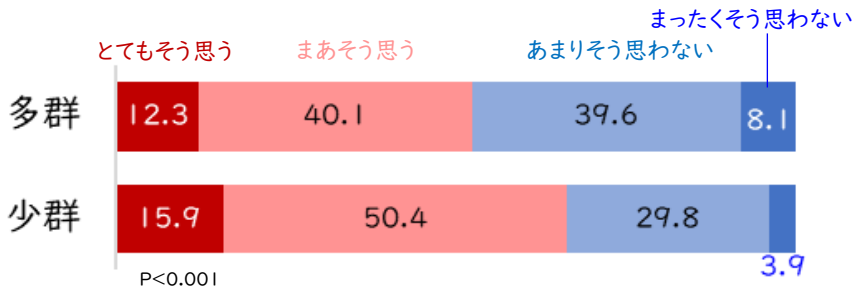
●社会に対する無力感（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）

自分ががんばっても社会を変えることはできない

全体

小4～6生

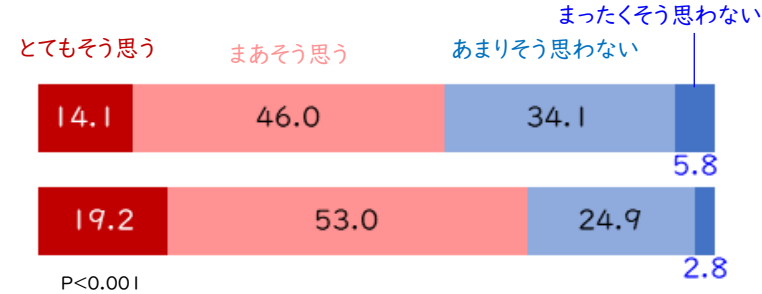
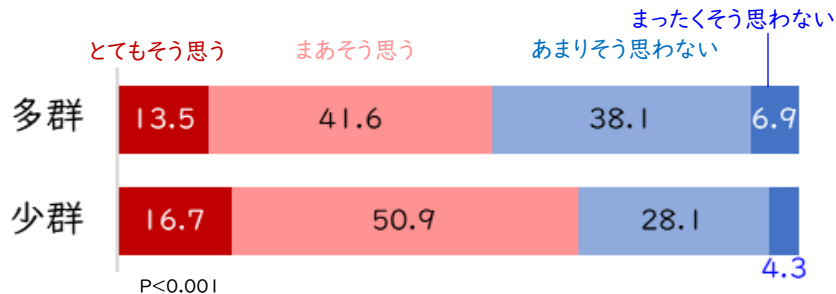
チャレンジングな経験



中学生

高校生

チャレンジングな経験



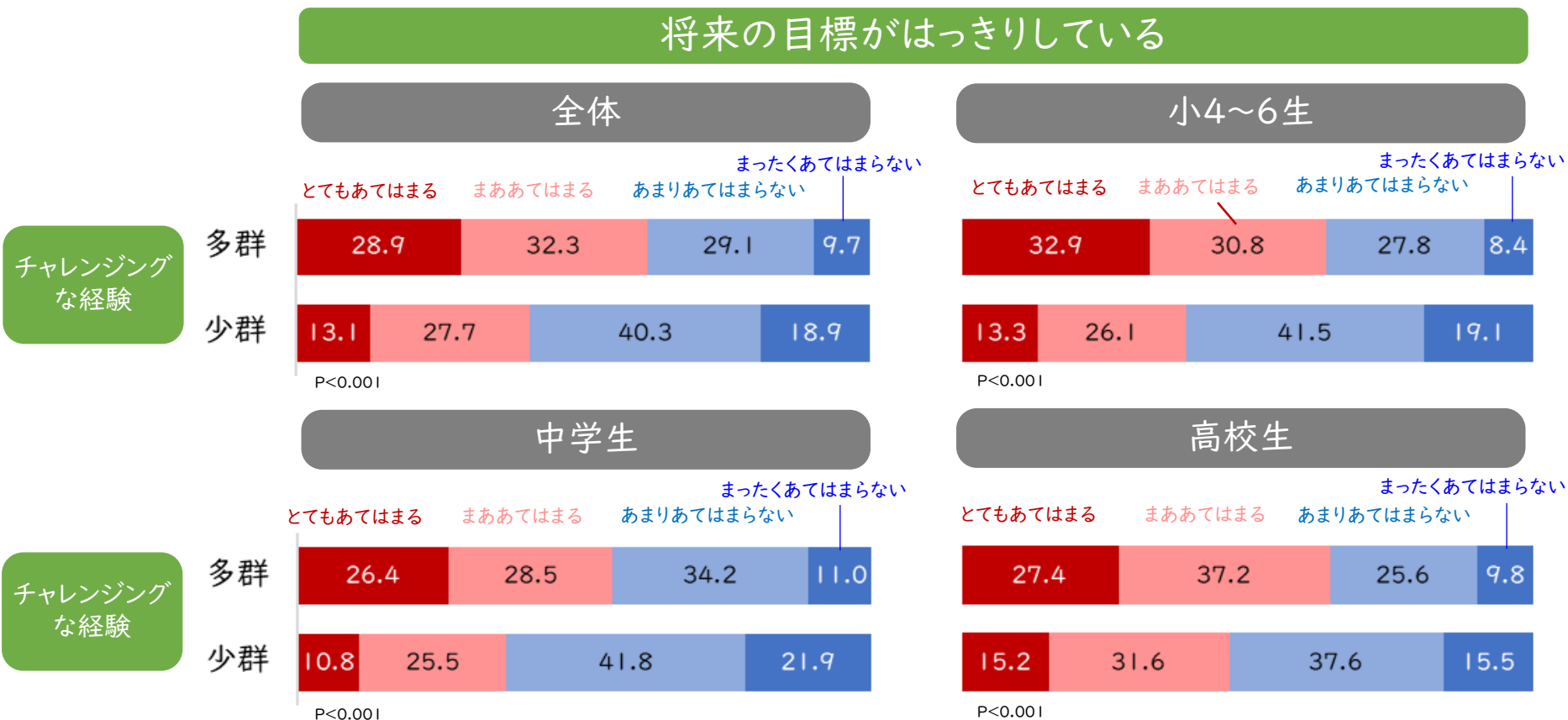
*対象は小4～高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4～6生：中学生：高校生=1：1：1になるように重みづけを行った。
 *社会に対する無力感は、「あなたは、次のことについてどう思いますか」という質問の「自分ががんばっても社会を変えることはできない」に対する回答。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0～2を「少群」、3～5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑧将来の目標との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「目標がはっきりしている」を肯定

●将来の目標（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。
 *将来の目標は、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「将来の目標がはっきりしている」に対する回答。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑨ 自己肯定感との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、自己肯定感が高い

● 自己肯定感（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）

自分の良いところが何かを言うことができる

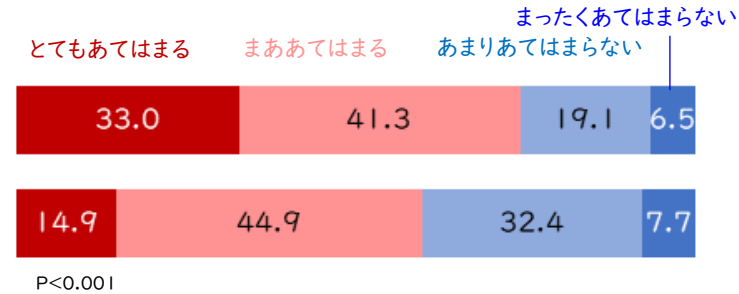
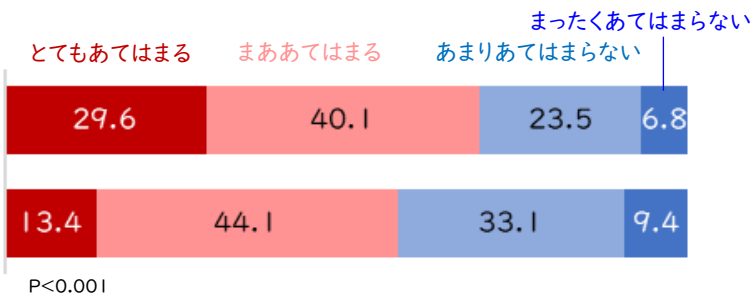
全体

小4～6生

チャレンジング
な経験

多群

少群



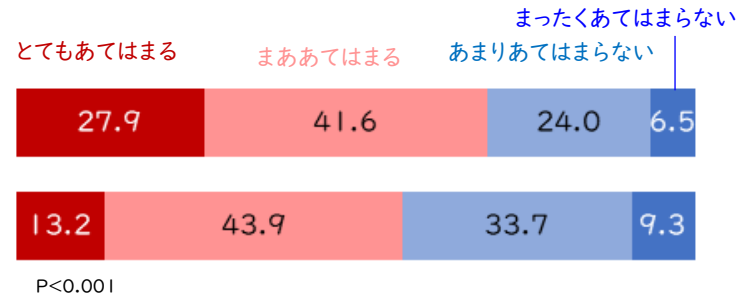
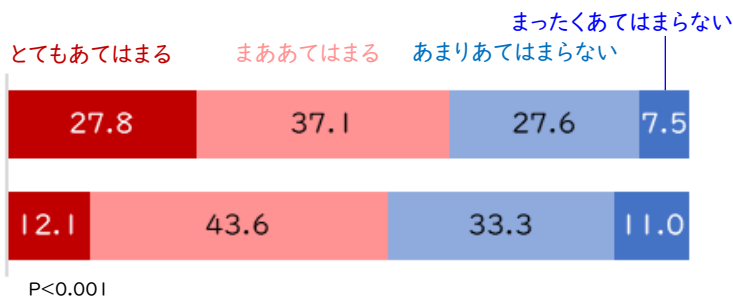
中学生

高校生

チャレンジング
な経験

多群

少群



*対象は小4～高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4～6生：中学生：高校生=1：1：1になるように重みづけを行った。

*自己肯定感は、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「自分の良いところが何かを言うことができる」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0～2を「少群」、3～5を「多群」とした。

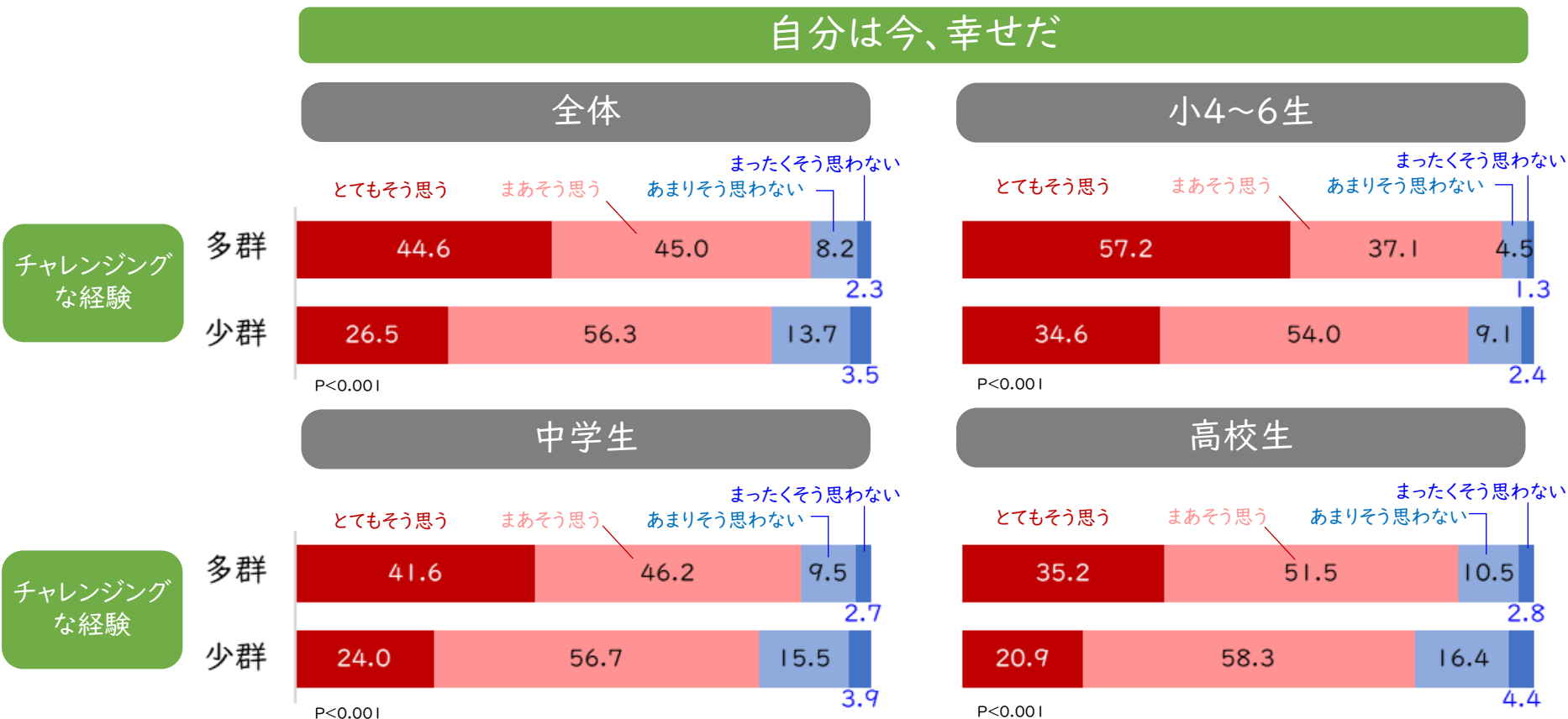
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑩今の幸せ実感との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「自分は今、幸せだ」を実感

●今の幸せ実感（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）



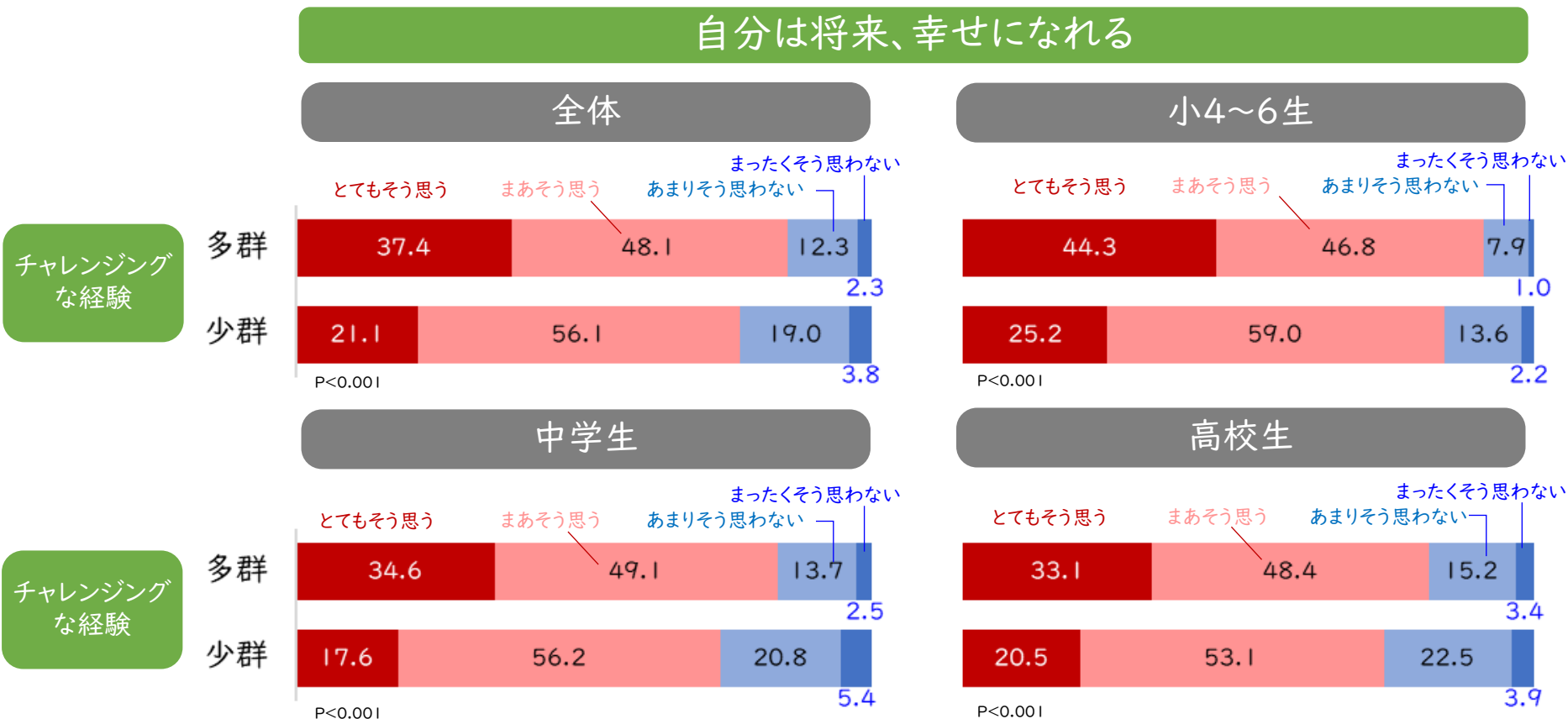
*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生：中学生：高校生=1：1：1になるように重みづけを行った。
 *今の幸せ実感は、「あなたは、次のことについてどう思いますか」という質問の「自分は今、幸せだ」に対する回答。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑪ 将来の幸せ感との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「自分は将来、幸せになれる」を実感

● 将来の幸せ感（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。
 *将来の幸せ感は、「あなたは、次のことについてどう思いますか」という質問の「自分は将来、幸せになれる」に対する回答。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



① 学習時間との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、学習時間が長い

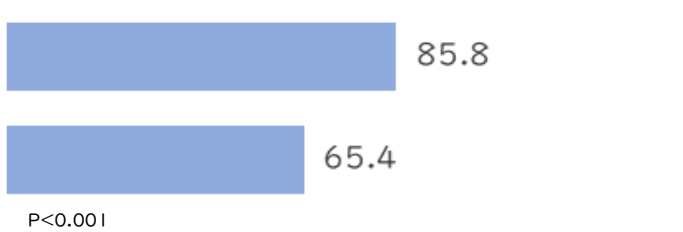
● 学習時間（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（分）

1日当たりの学習時間（宿題、宿題以外の家庭学習、学習塾の合計）

全体

小4～6生

チャレンジングな経験



中学生

高校生

チャレンジングな経験



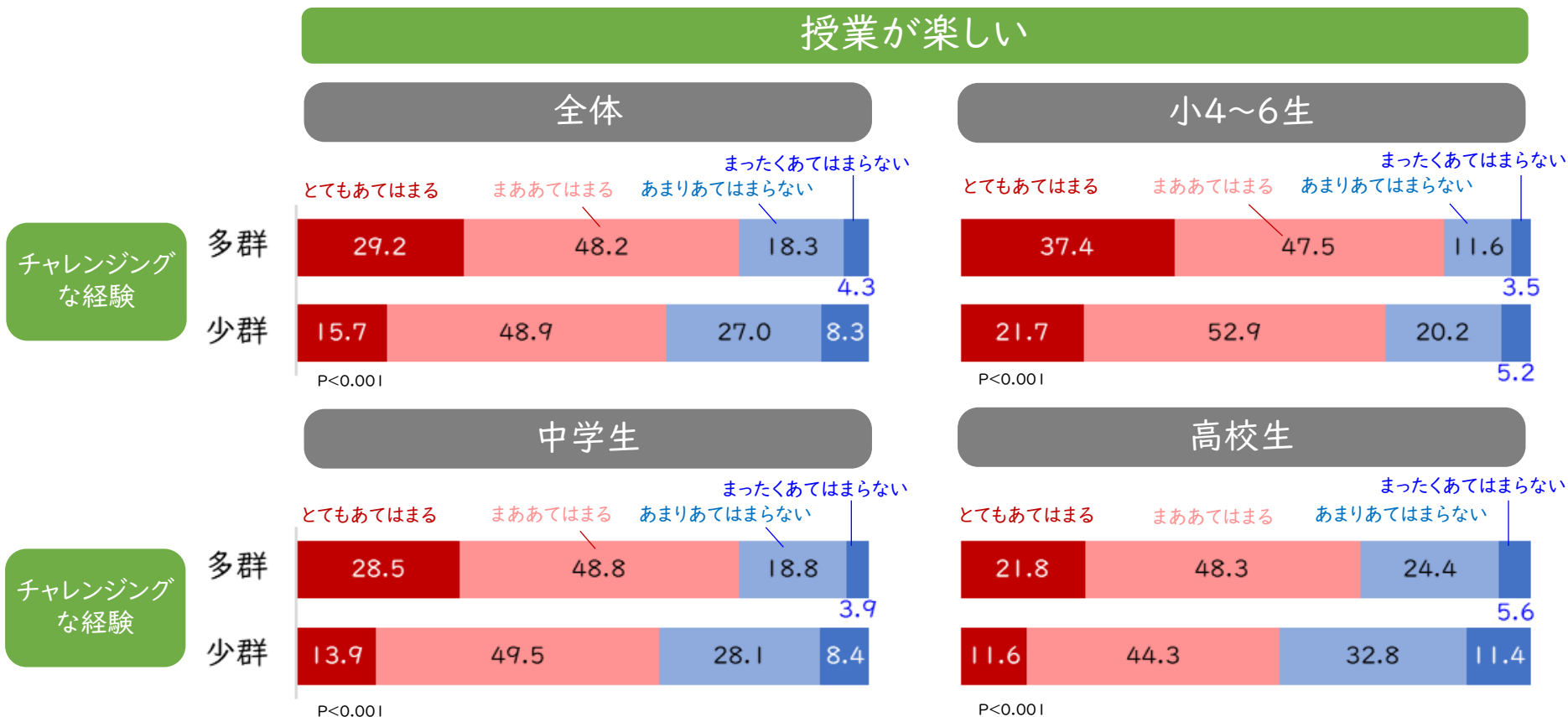
*対象は小4～高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4～6生：中学生：高校生=1：1：1になるように重みづけを行った。
 *学習時間は、「宿題」「宿題以外の家庭学習」「学習塾」の時間の合計（1日当たり、分）。
 *チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0～2を「少群」、3～5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



② 授業の楽しさとの関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「授業が楽しい」を実感

● 授業の楽しさ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*授業の楽しさは、「学校生活について、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「授業が楽しい」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



③勉強が好きとの関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「勉強が好き」を実感

●勉強が好き(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

勉強がどれくらい好きか

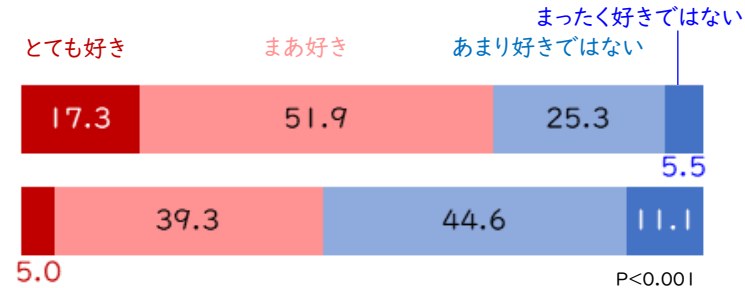
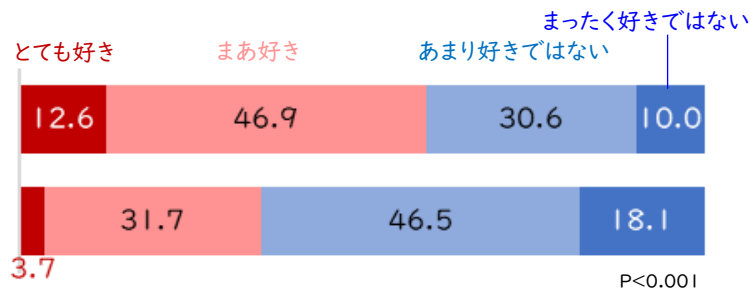
全体

小4~6生

チャレンジングな経験

多群

少群



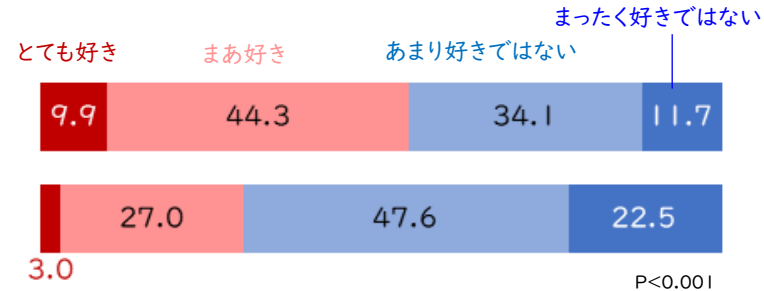
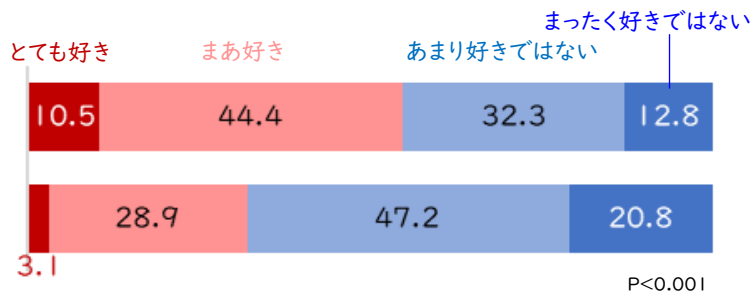
中学生

高校生

チャレンジングな経験

多群

少群



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*勉強が好きは、「あなたは『勉強』がどれくらい好きですか」という質問に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



④ 学習意欲の低減との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「勉強する気持ちがわかない」を否定

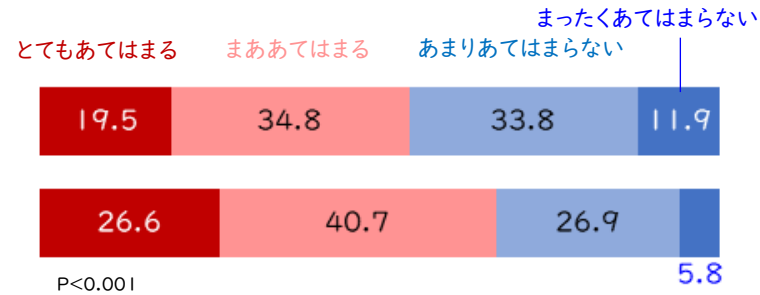
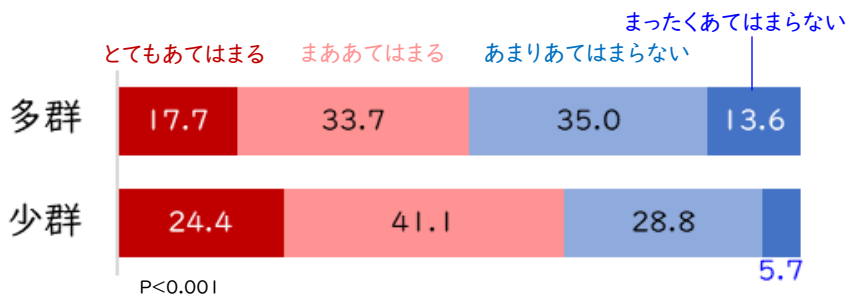
● 学習意欲の低減（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）

勉強する気持ちがわかない

全体

小4～6生

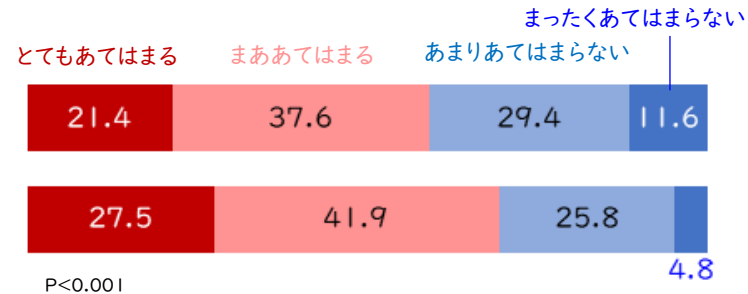
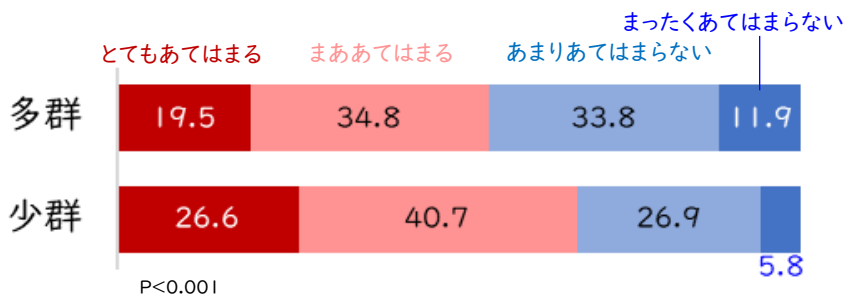
チャレンジングな経験



中学生

高校生

チャレンジングな経験



*対象は小4～高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4～6生：中学生：高校生=1：1：1になるように重みづけを行った。

*学習意欲の低減は、「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という質問の「勉強する気持ちがわかない」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0～2を「少群」、3～5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑤ 暗記の得意さとの関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「暗記が得意」と感じている

● 暗記の得意さ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

暗記すること(ものを覚えること)

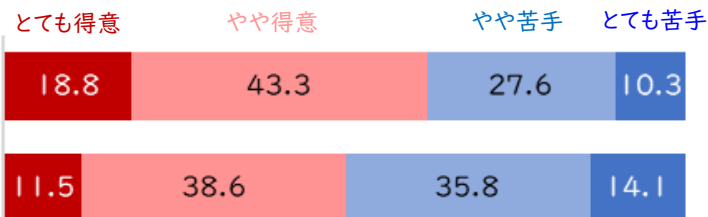
全体

小4~6生

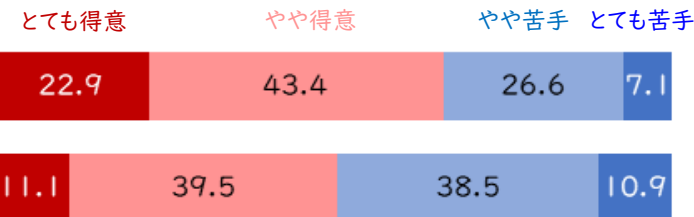
チャレンジングな経験

多群

少群



P<0.001



P<0.001

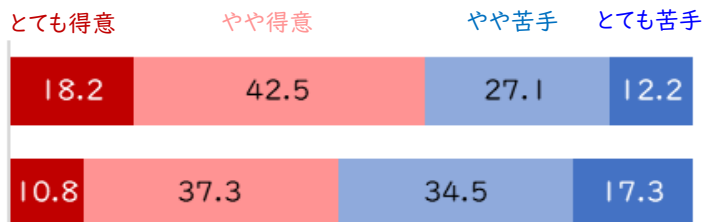
中学生

高校生

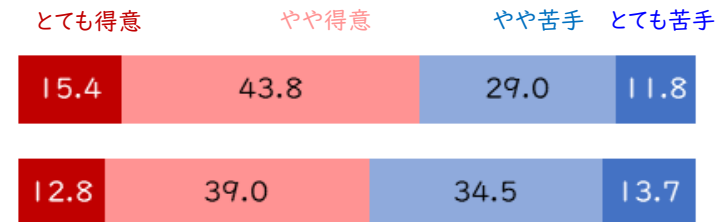
チャレンジングな経験

多群

少群



P<0.001



P<0.001

*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*暗記の得意さは、「あなたは次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という質問の「暗記すること(ものを覚えること)」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑥ 図表理解の得意さとの関連

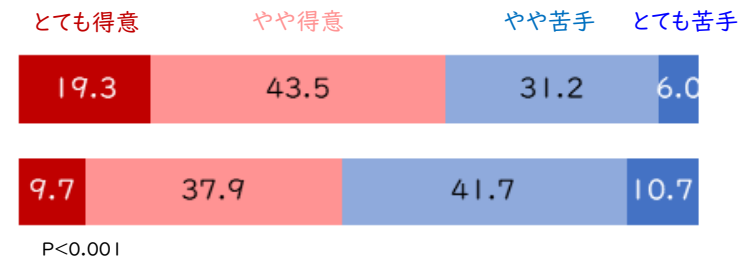
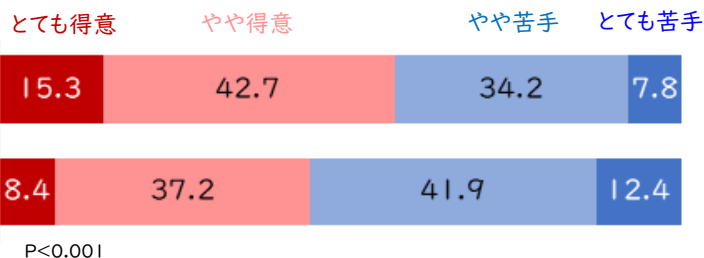
チャレンジングな経験が多い子どもは、「図表の理解が得意」と感じている

● 図表理解の得意さ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

図や表(グラフ)を見て理解すること

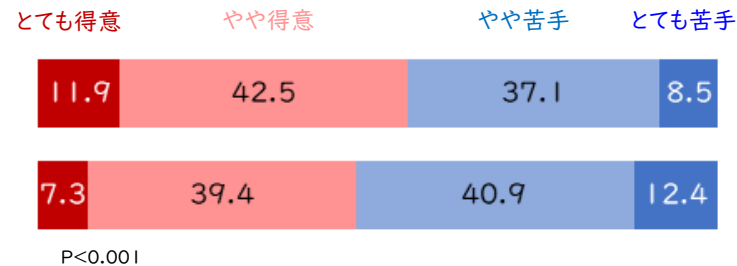
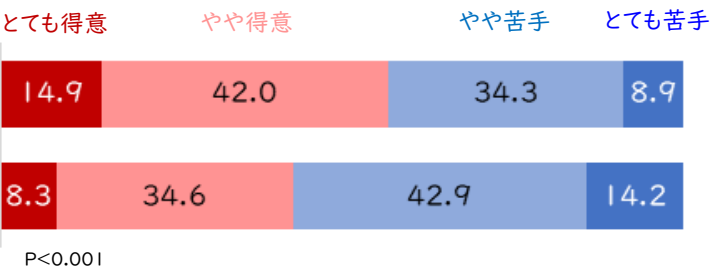
全体

小4~6生



中学生

高校生



チャレンジングな経験

チャレンジングな経験

*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*図表理解の得意さは、「あなたは次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という質問の「図や表(グラフ)を見て理解すること」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑦論理的思考の得意さとの関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「論理的思考が得意」と感じている

●論理的思考の得意さ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

論理的に(筋道を立てて)考えること

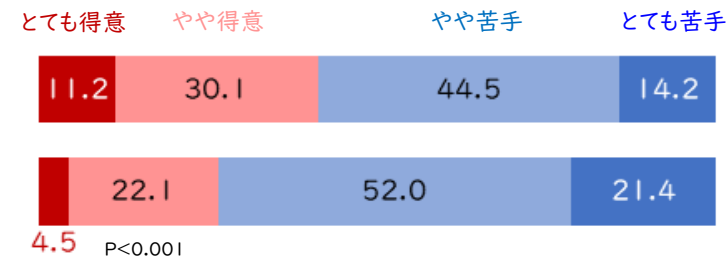
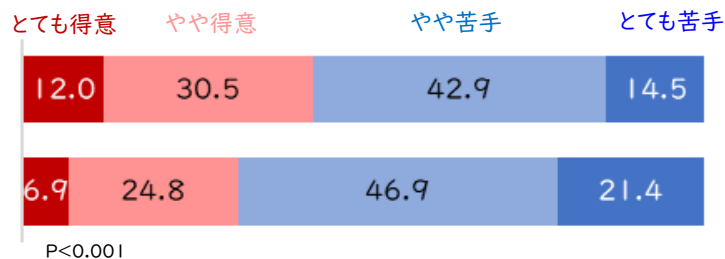
全体

小4~6生

チャレンジングな経験

多群

少群



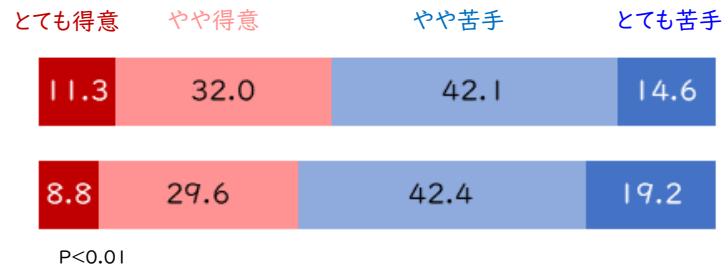
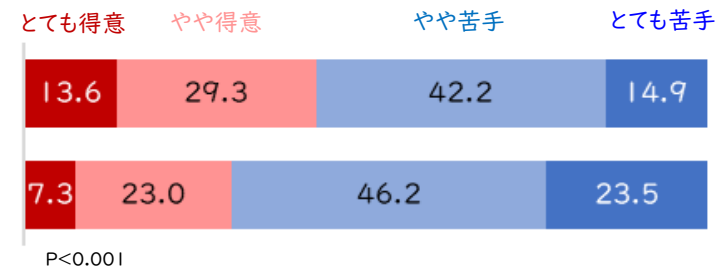
中学生

高校生

チャレンジングな経験

多群

少群



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*論理的思考の得意さは、「あなたは次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という質問の「論理的に(筋道を立てて)考えること」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑧文章理解の得意さとの関連

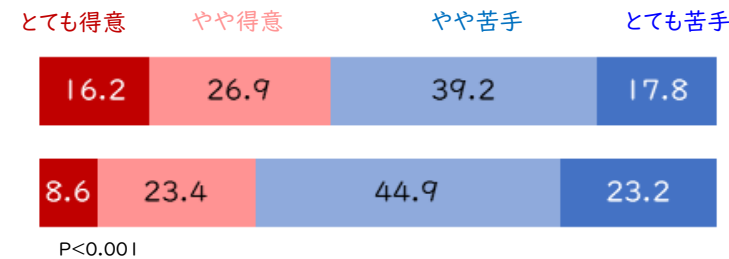
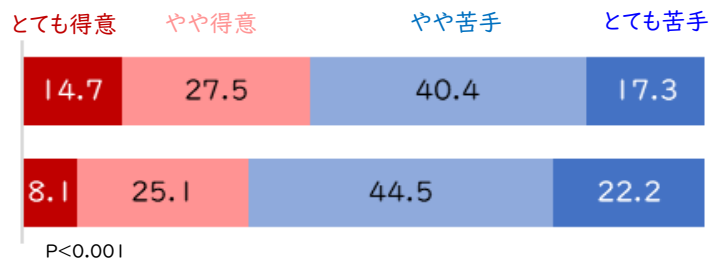
チャレンジングな経験が多い子どもは、「文章理解が得意」と感じている

●文章理解の得意さ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

長い文章を読んで理解すること

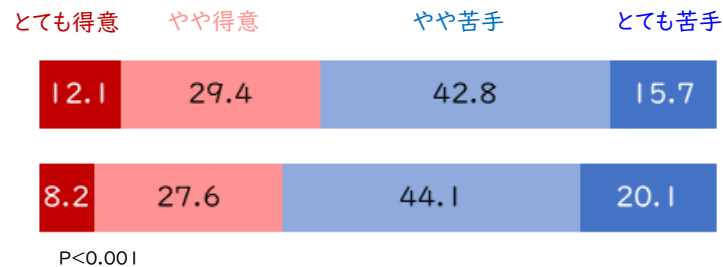
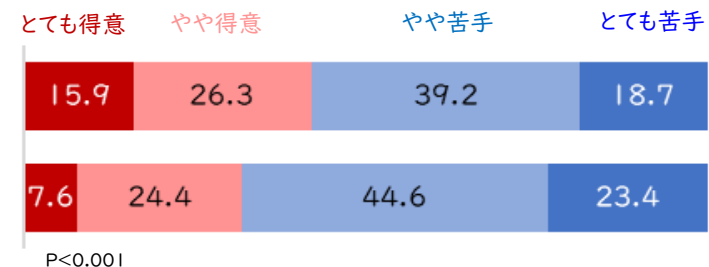
全体

小4~6生



中学生

高校生



チャレンジングな経験

チャレンジングな経験

*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*文章理解の得意さは、「あなたは次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という質問の「長い文章を読んで理解すること」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑨文章表現の得意さとの関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「文章表現が得意」と感じている

●文章表現の得意さ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

自分の考えを文章にまとめること

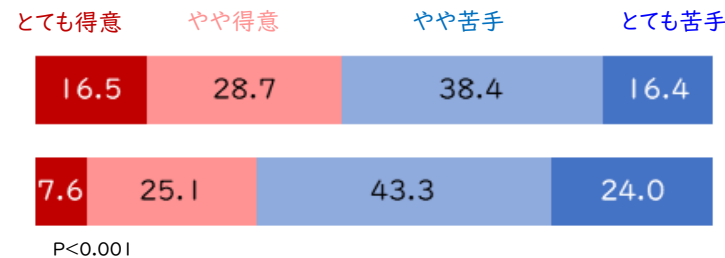
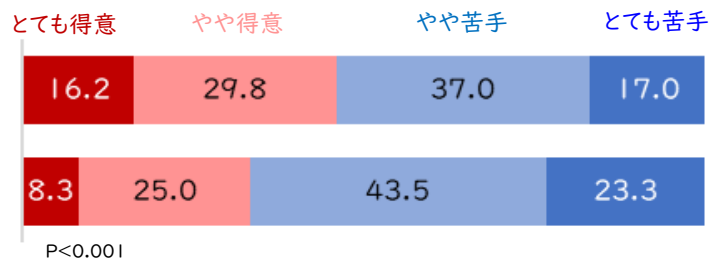
全体

小4~6生

チャレンジングな経験

多群

少群



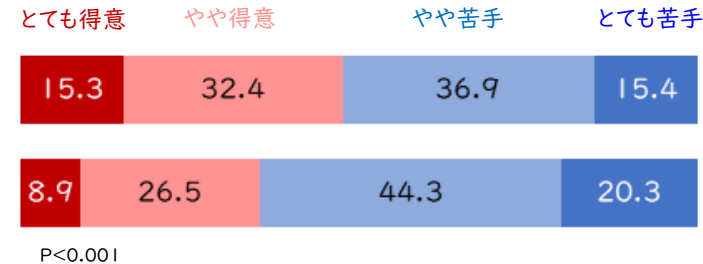
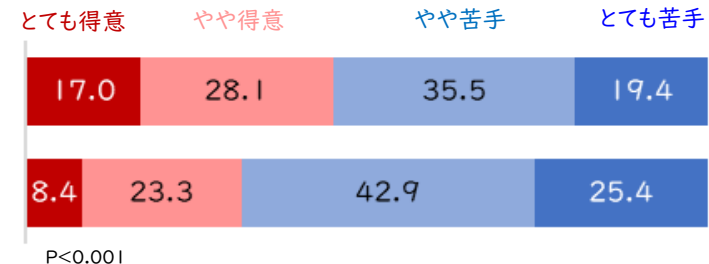
中学生

高校生

チャレンジングな経験

多群

少群



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*文章表現の得意さは、「あなたは次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という質問の「自分の考えを文章にまとめること」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑩プレゼンの得意さとの関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、「プレゼンが得意」と感じている

●プレゼンの得意さ(チャレンジングな経験別)【2023年データ】(%)

自分の考えをみんなの前で発表すること

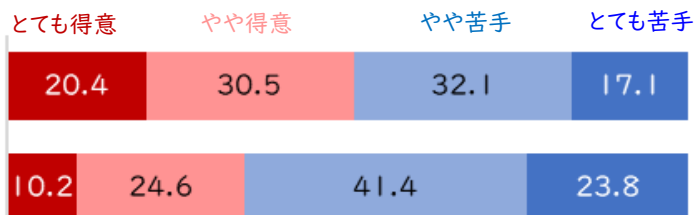
全体

小4~6生

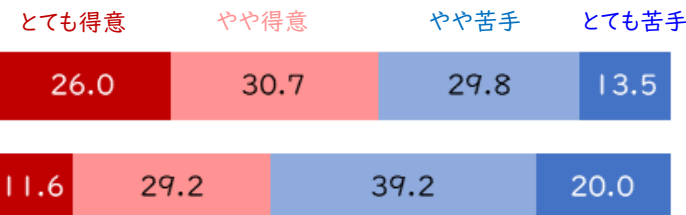
チャレンジングな経験

多群

少群



P<0.001



P<0.001

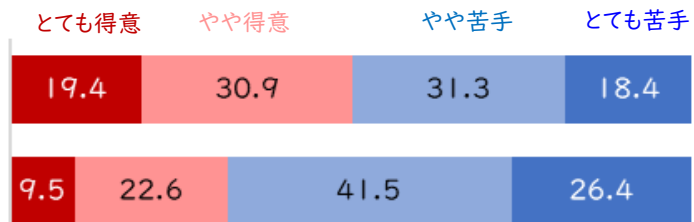
中学生

高校生

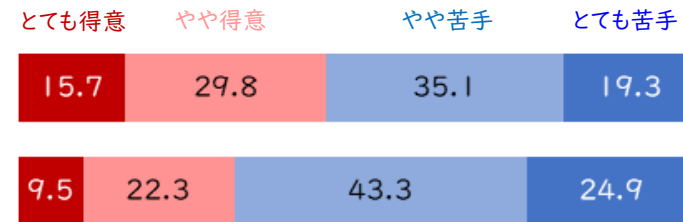
チャレンジングな経験

多群

少群



P<0.001



P<0.001

*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*プレゼンの得意さは、「あなたは次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という質問の「自分の考えをみんなの前で発表すること」に対する回答。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

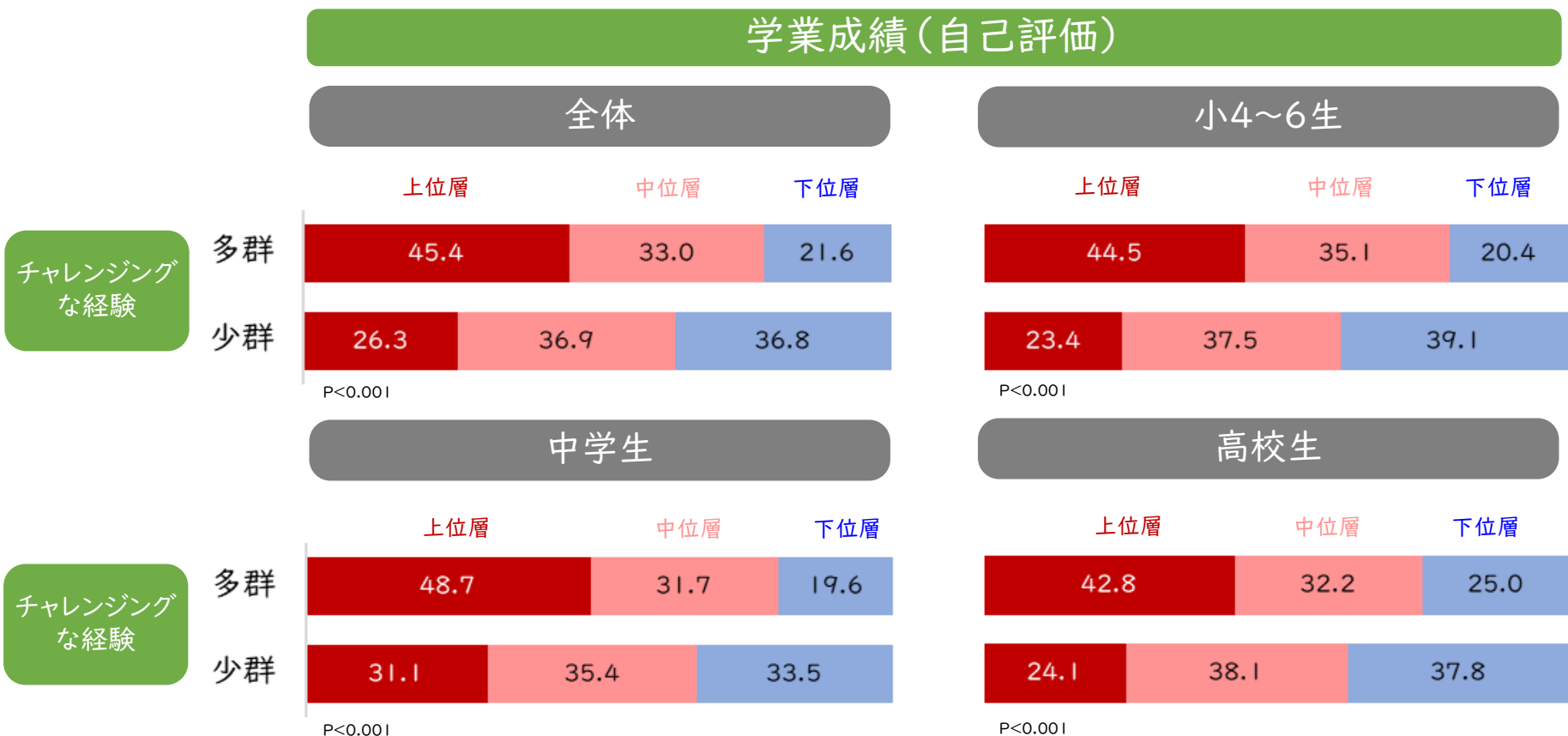
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



⑪ 学業成績との関連

チャレンジングな経験が多い子どもは、成績上位層の割合が高い

● 学業成績（チャレンジングな経験別）【2023年データ】（%）



*対象は小4~高3生の子ども。子ども全体の数値は、小4~6生:中学生:高校生=1:1:1になるように重みづけを行った。

*学業成績は、国語、算数・数学、理科、社会、英語（小4生は除く）の5教科それぞれについて5段階で自己評価してもらった回答を合算し、上位層、中位層、下位層がそれぞれ三分の一になるように分割した。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



①興味の追究の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も興味に打ちこむ

●興味の追究の変化（小4時点のチャレンジングな経験別）【2015～23年データ】（%）

小4生時点の
チャレンジングな
経験

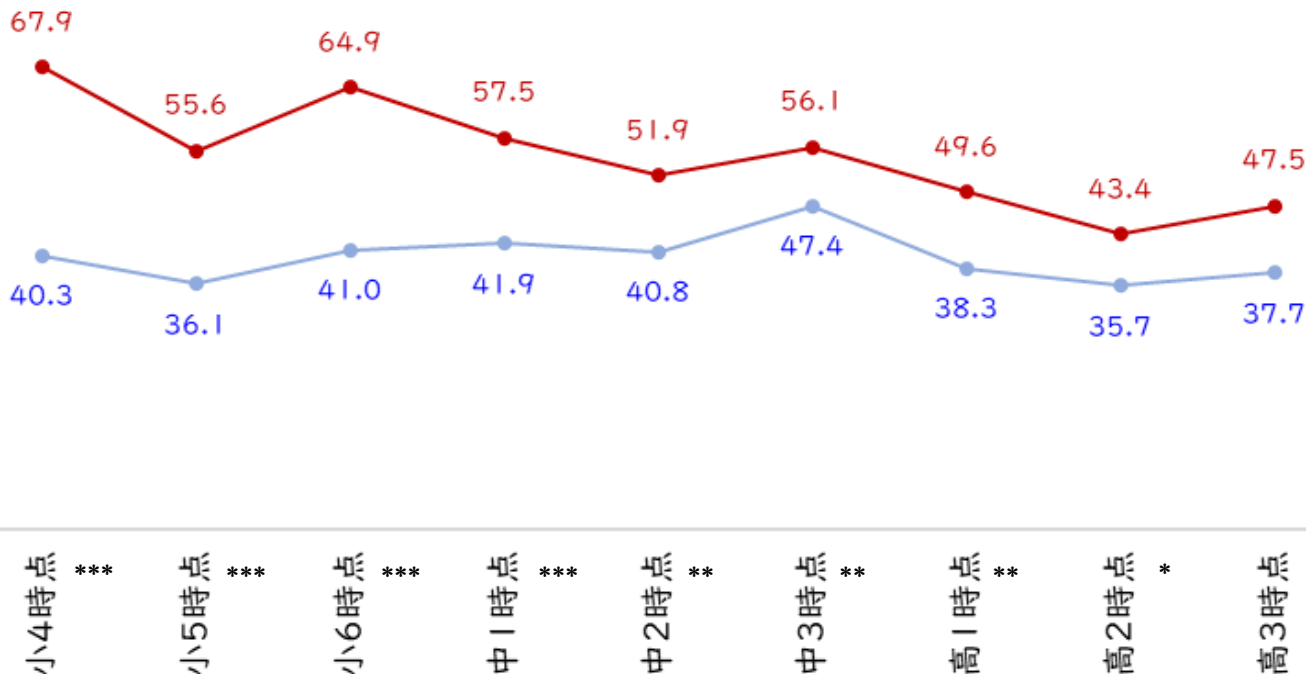
多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)

*興味を持ったことに打ちこむ→「とてもあてはまる」の比率(%)



*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。
 *興味の追究は、「興味を持ったことに打ちこむ」に対する「とてもあてはまる」の回答(%)。† p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)
 *小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0～2を「少群」、3～5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015～23年。



②挑戦心の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も挑戦心が高い

●挑戦心の変化（小4時点のチャレンジングな経験別）【2015～23年データ】（%）

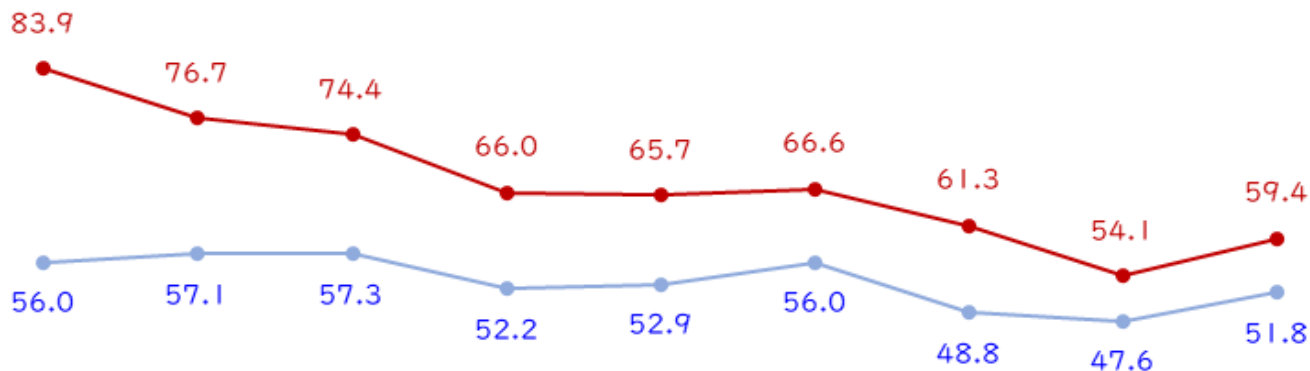
小4生時点の
チャレンジングな
経験

多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)



*難しいことや新しいことにいつも挑戦したい→「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の比率(%)

小4時点 *** 小5時点 *** 小6時点 *** 中1時点 *** 中2時点 *** 中3時点 *** 高1時点 *** 高2時点 高3時点

*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことにに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。
 *挑戦心は、「難しいことや新しいことにいつも挑戦したい」に対する「とてもあてはまる」「まああてはまる」の回答の合計(%)。† p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)
 *小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。



③利他心の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も利他心が高い

●利他心の変化（小4時点のチャレンジングな経験別）【2015～23年データ】（%）

小4生時点の
チャレンジングな
経験

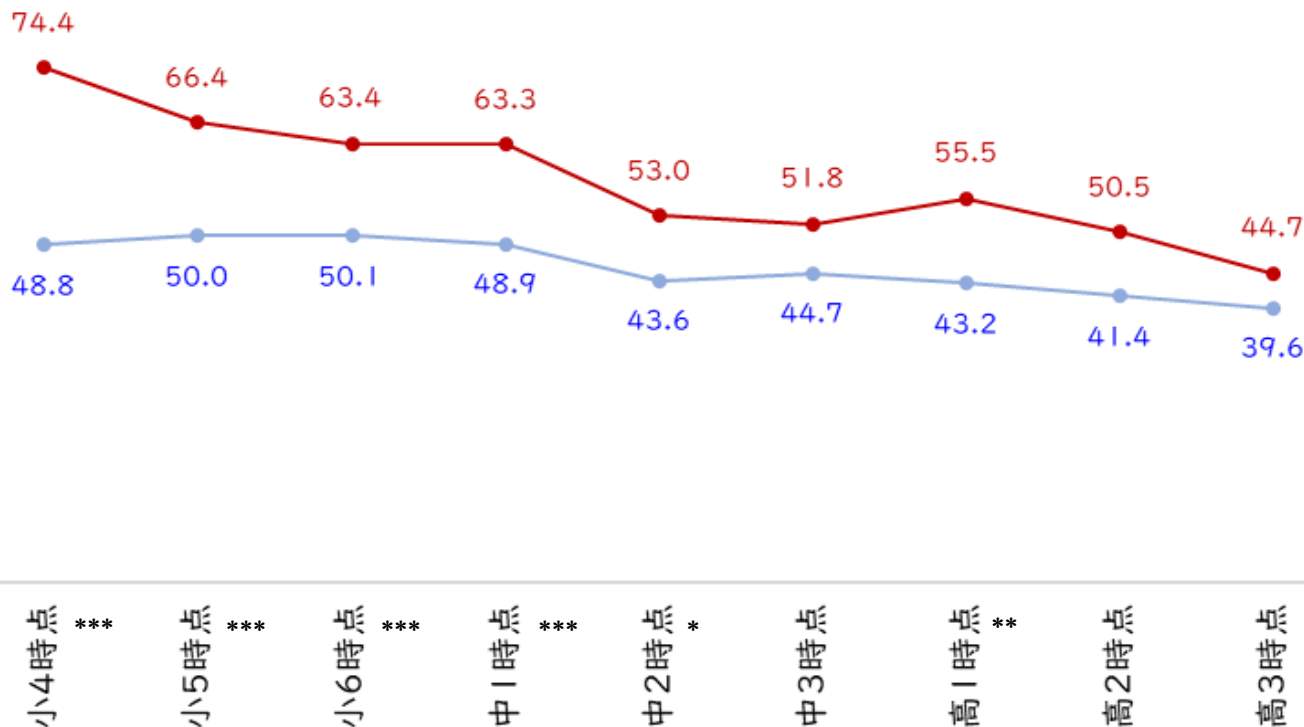
多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)

*人の役に立つことはうれしい→「とてもあてはまる」の比率(%)



*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことにに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。

*利他心は、「人の役に立つことはうれしい」に対する「とてもあてはまる」の回答(%)。+ p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)

*小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0～2を「少群」、3～5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015～23年。



④社会への関心の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も社会への関心が高い

●社会への関心の変化（小4時点のチャレンジングな経験別）【2015～23年データ】（%）

小4生時点の
チャレンジングな
経験

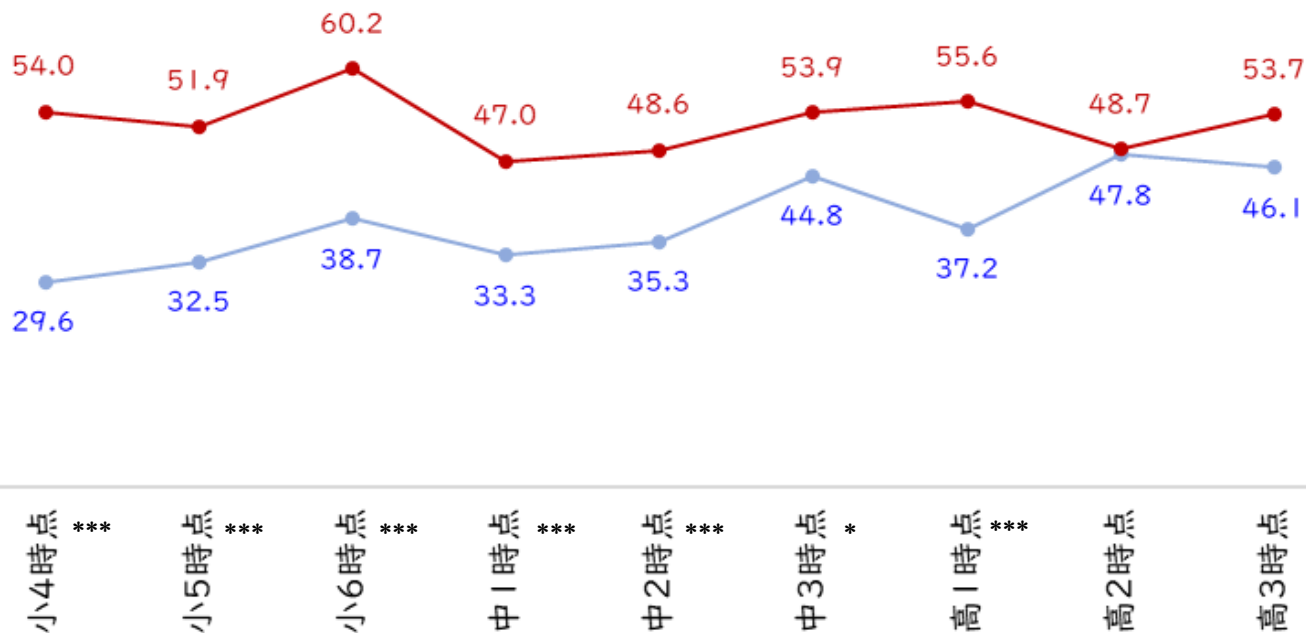
多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)

*社会の出来事やニュースに関心が強い→「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の比率（%）



*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことにに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。
 *社会への関心は、「社会の出来事やニュースに関心が強い」に対する「とてもあてはまる」「まああてはまる」の回答の合計(%)。+ p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)
 *小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。



⑤将来の目標の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も将来の目標が明確

●将来の目標の変化（小4時点のチャレンジングな経験別）【2015～23年データ】（%）

小4生時点の
チャレンジングな
経験

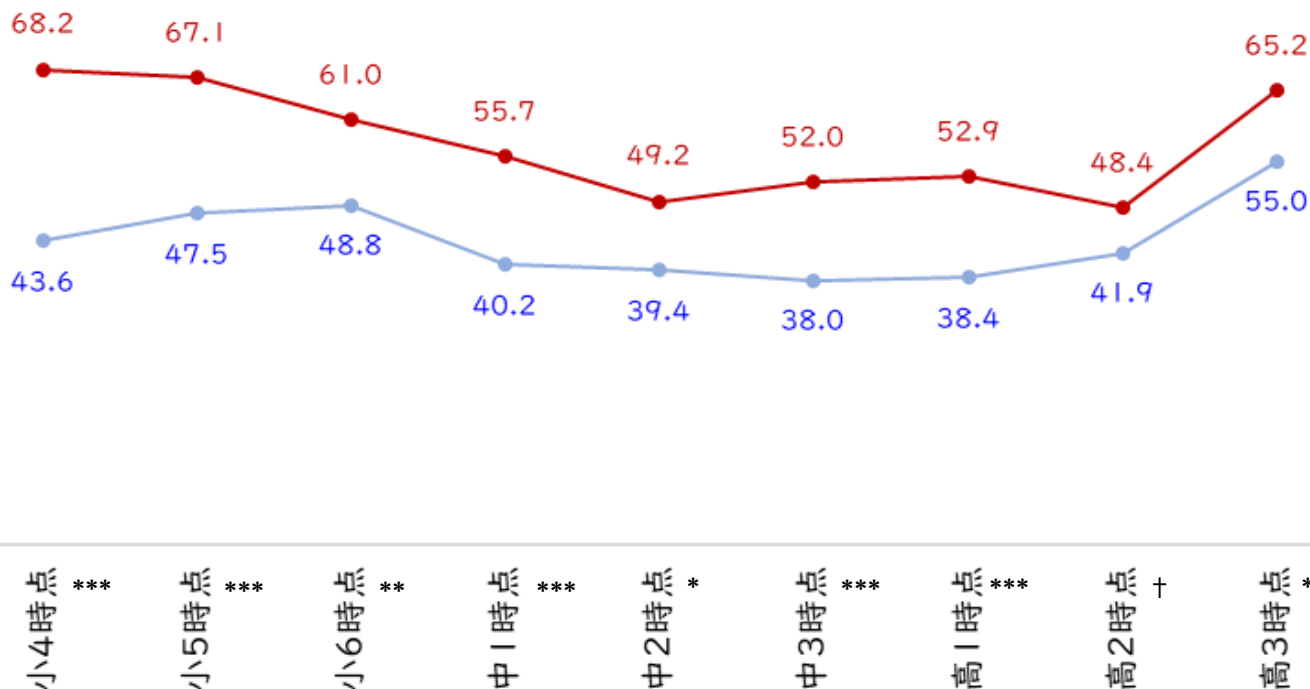
多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)

*将来の目標がはっきりしている→「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の比率(%)



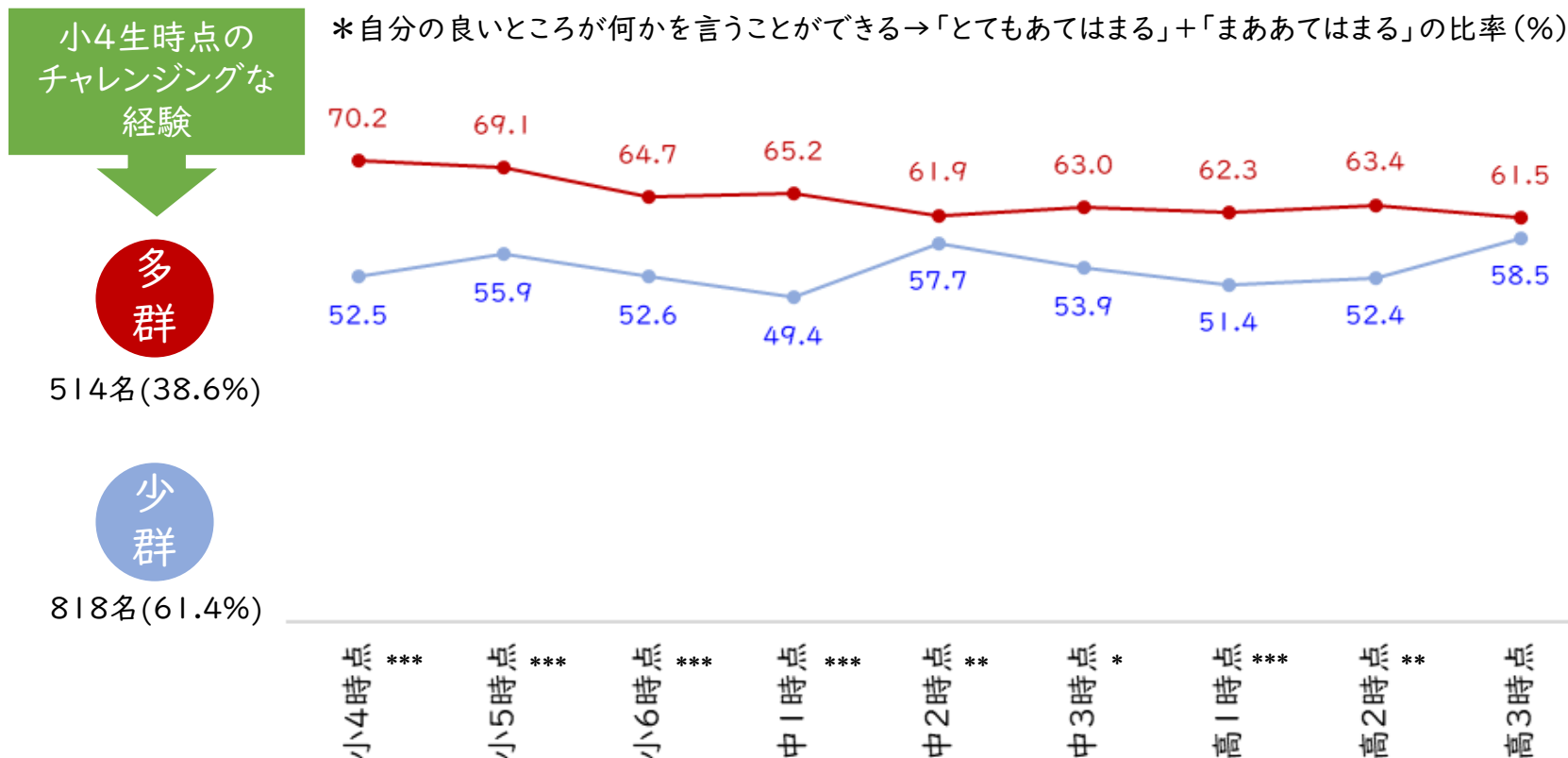
*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことに伴う質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。
 *将来の目標は、「将来の目標がはっきりしている」に対する「とてもあてはまる」「まああてはまる」の回答の合計(%)。+ p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)
 *小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。



⑥自己肯定感の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も自己肯定感が高い

●自己肯定感の変化（小4時点のチャレンジングな経験別）【2015～23年データ】（%）



*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことにに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。

*自己肯定感は、「自分のいいところが何かを言うことができる」に対する「とてもあてはまる」「まああてはまる」の回答の合計(%)。+ p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)

*小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。



⑦勉強が好きな変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も「勉強が好き」を肯定

●勉強が好きな割合の変化（小4時点のチャレンジングな経験別）【2015～23年データ】（%）

小4生時点の
チャレンジングな
経験

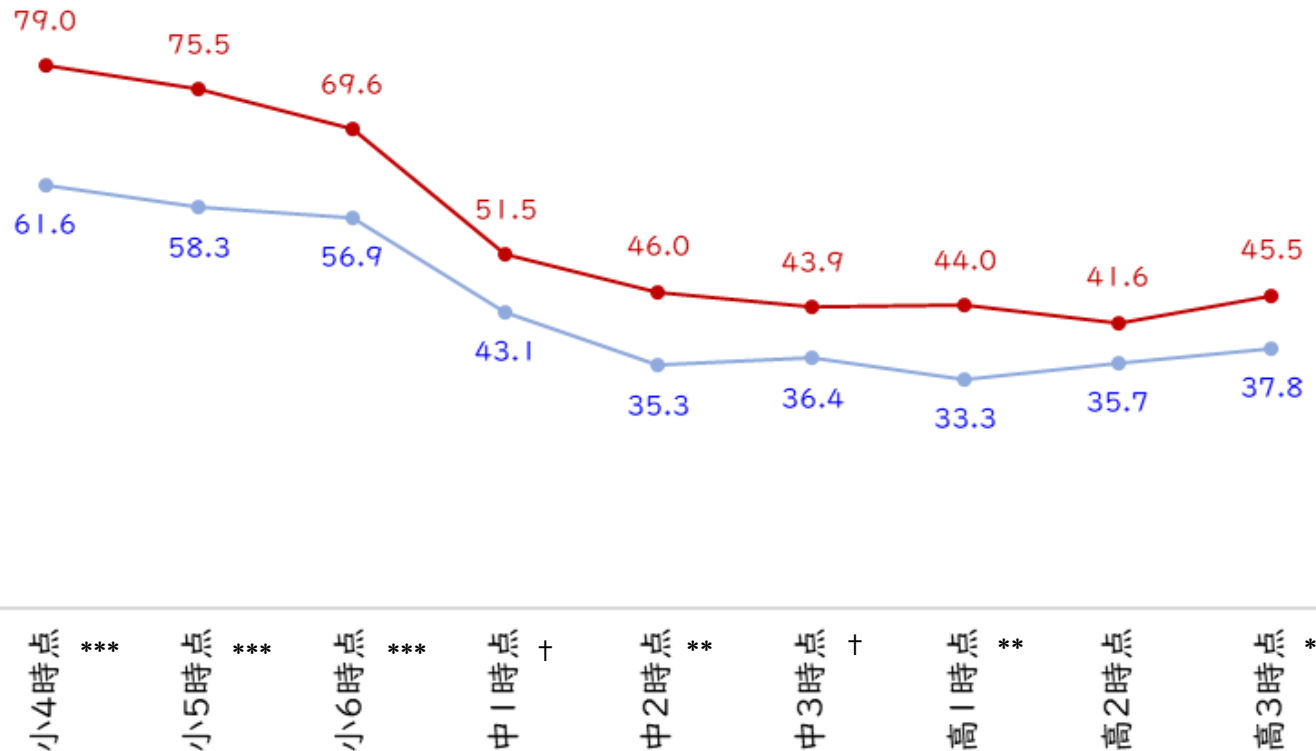
多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)

*勉強がどれくらい好きか→「とても好き」+「まあ好き」の比率(%)



*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。
 *勉強が好きは、「あなたは『勉強』がどれくらい好きですか」に対する「とても好き」と「まあ好き」の回答の合計(%)。+ p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)
 *小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。



⑧学習意欲の低減の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も学習意欲が高い

●学習意欲の低減の変化(小4時点のチャレンジングな経験別)【2015~23年データ】(%)

小4生時点の
チャレンジングな
経験

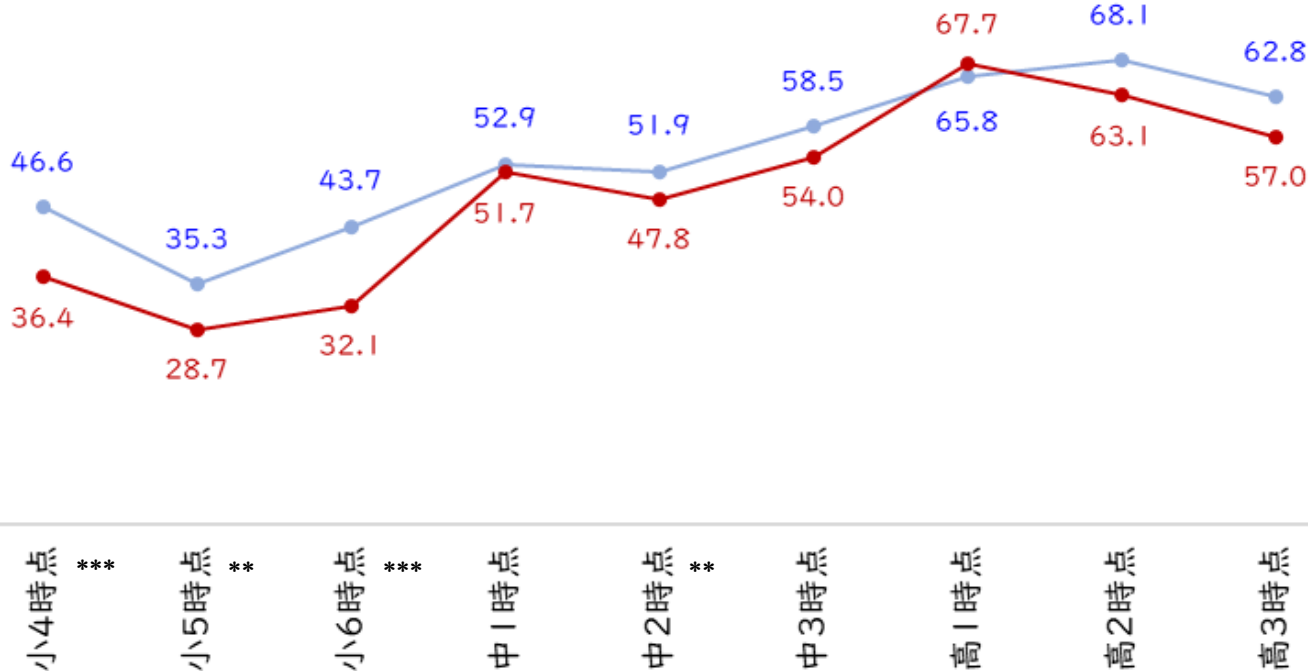
多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)

*勉強する気持ちがわからない→「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の比率(%)



*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことにに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。
 *学習意欲の低減は、「勉強する気持ちがわからない」に対する「とてもあてはまる」「まああてはまる」の回答の合計(%)。† p<0.1 * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001 (χ²乗検定)
 *小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。



⑨学業成績の変化

小4でチャレンジングな経験が多い子どもは、その後も成績が高い

●学業成績の変化(小4時点のチャレンジングな経験別)【2015~23年データ】

小4生時点の
チャレンジングな
経験

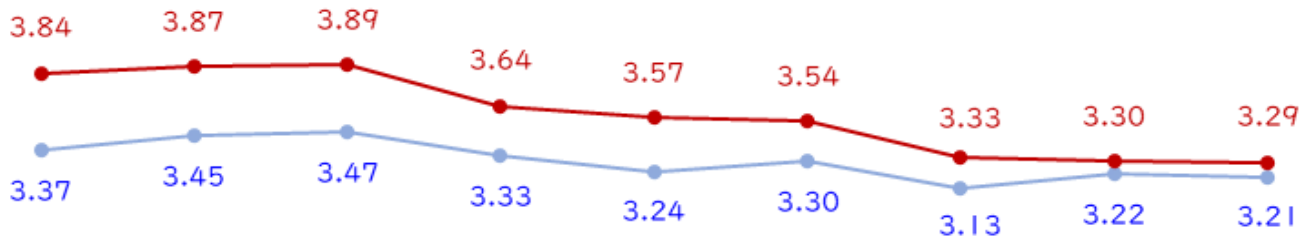
多
群

514名(38.6%)

少
群

818名(61.4%)

*学業成績→国語、算数・数学、理科、社会、英語(小学生時点は除く)の5段階の自己評価の平均値



入学した高校の偏差値 **多群57.1 > 少群55.5** $p < 0.1$ (t検定)
 進学校(国公立大学や難関私立大学への進学者が多い高校)への進学割合
多群42.2% > 少群34.0% $p < 0.05$ (χ^2 乗検定)

小4時点 *** 小5時点 *** 小6時点 *** 中1時点 *** 中2時点 *** 中3時点 ** 高1時点 ** 高2時点 高3時点

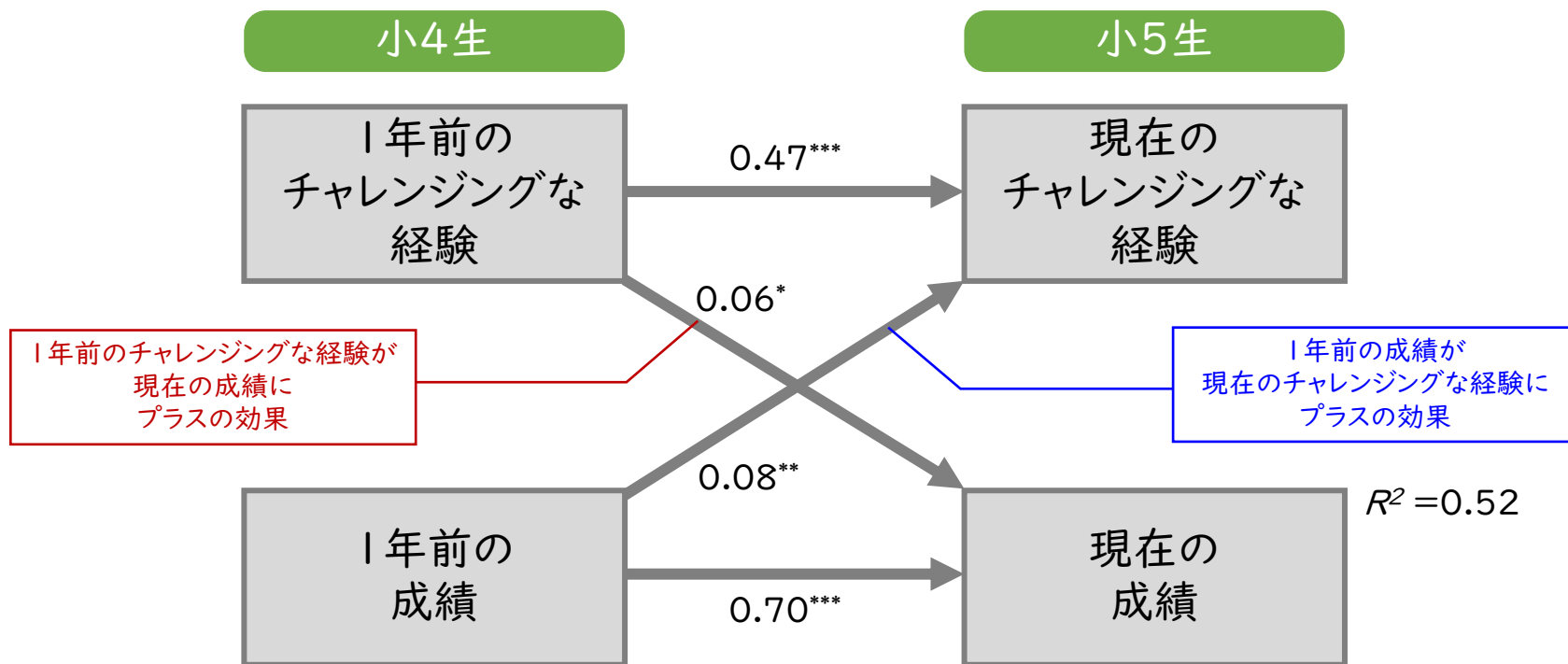
*分析対象は2015年調査の小4生で1年間で経験したことにに関する質問に回答があった1,332名。該当の小4生を高3生まで追跡した結果を示した。
 *学業成績は、国語、算数・数学、理科、社会、英語(小学生時点は除く)の5段階の自己評価の平均値。+ $p < 0.1$ * $p < 0.05$ ** $p < 0.01$ *** $p < 0.001$ (t検定)
 *小4時点のチャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数について、0~2を「少群」、3~5を「多群」とした。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015~23年。



① チャレンジングな経験と成績の関連

チャレンジングな経験と成績は、相互に関連をもつ

● チャレンジングな経験と成績の関連（時系列分析）【小4→小5の変化、2022～23年データ】



*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$ 。誤差項、共分散、誤差項共分散は図から省略した。

*2022年の小4生(1,348名)を2023年の小5生まで追跡した結果。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数を合計した。1年前の成績は国語・算数・理科・社会の5段階の成績の自己評価の平均値、現在の成績は国語・算数・理科・社会・英語の5段階の成績の自己評価の平均値。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2022～23年。

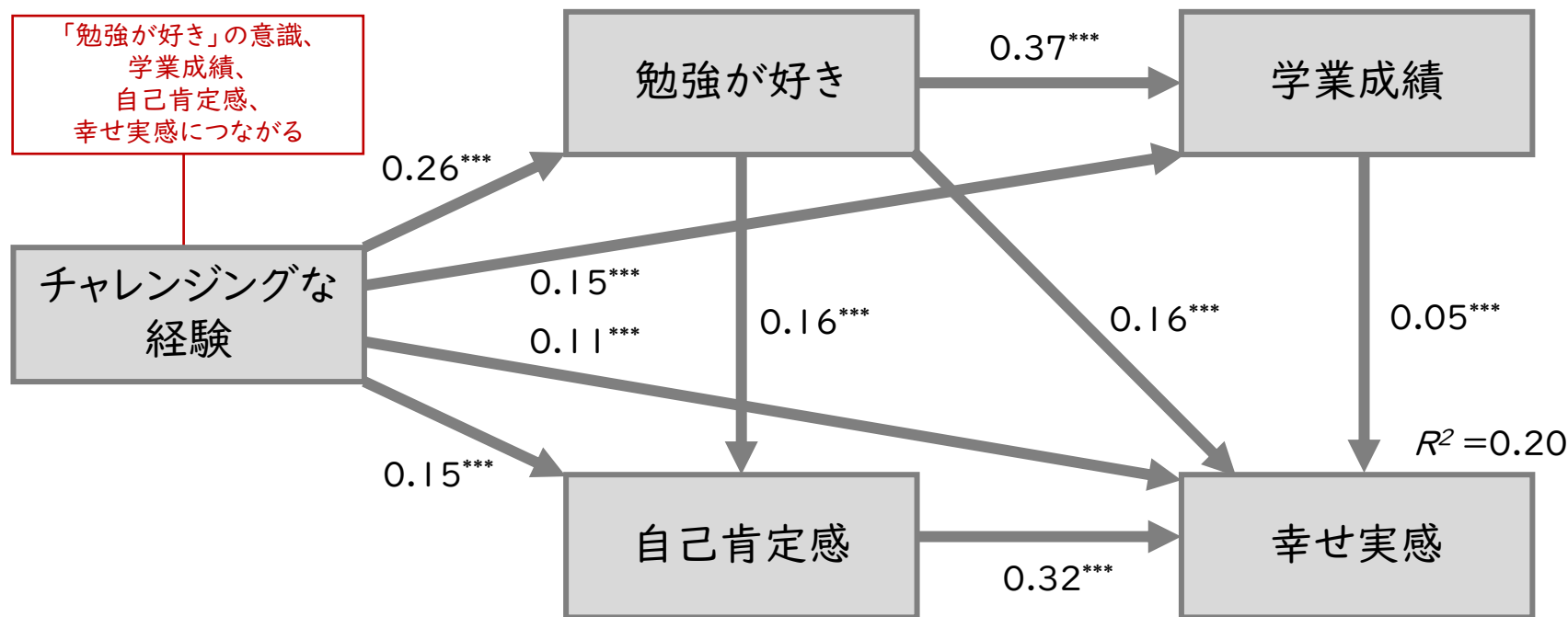
● 他の学年でも、1年前のチャレンジングや経験が現在の成績にプラスの効果をもつことが確認できる



②チャレンジングな経験の効果

チャレンジングな経験は勉強が好き、自己肯定感、成績などに影響し、幸せ実感を高める

●チャレンジングな経験の効果モデル【2023年データ】



* χ^2 乗値= 17.219(df=1, p=0.000)、CFI=0.997、RMSEA=0.022。数値は標準化回帰係数。*** p<0.001、誤差項は図から省略した。

*分析の対象は、小4生から高3生の子ども8,618名。

*チャレンジングな経験は、この1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験の数を合計した。自己肯定感は、「自分の良いところが何かを言うことができる」として「とてもあてはまる」4～「まったくあてはまらない」1とした。「勉強が好き」は、「あなたは『勉強』がどれくらい好きですか」に対して「とても好き」4～「まったく好きではない」1とした。学業成績は、国語・算数/数学・理科・社会の5段階の成績の自己評価を合算した。「幸せ実感」は「自分は今、幸せだ」「自分は将来、幸せになれる」の2項目について、「とてもそう思う」4～「まったくそう思わない」1として合算した。

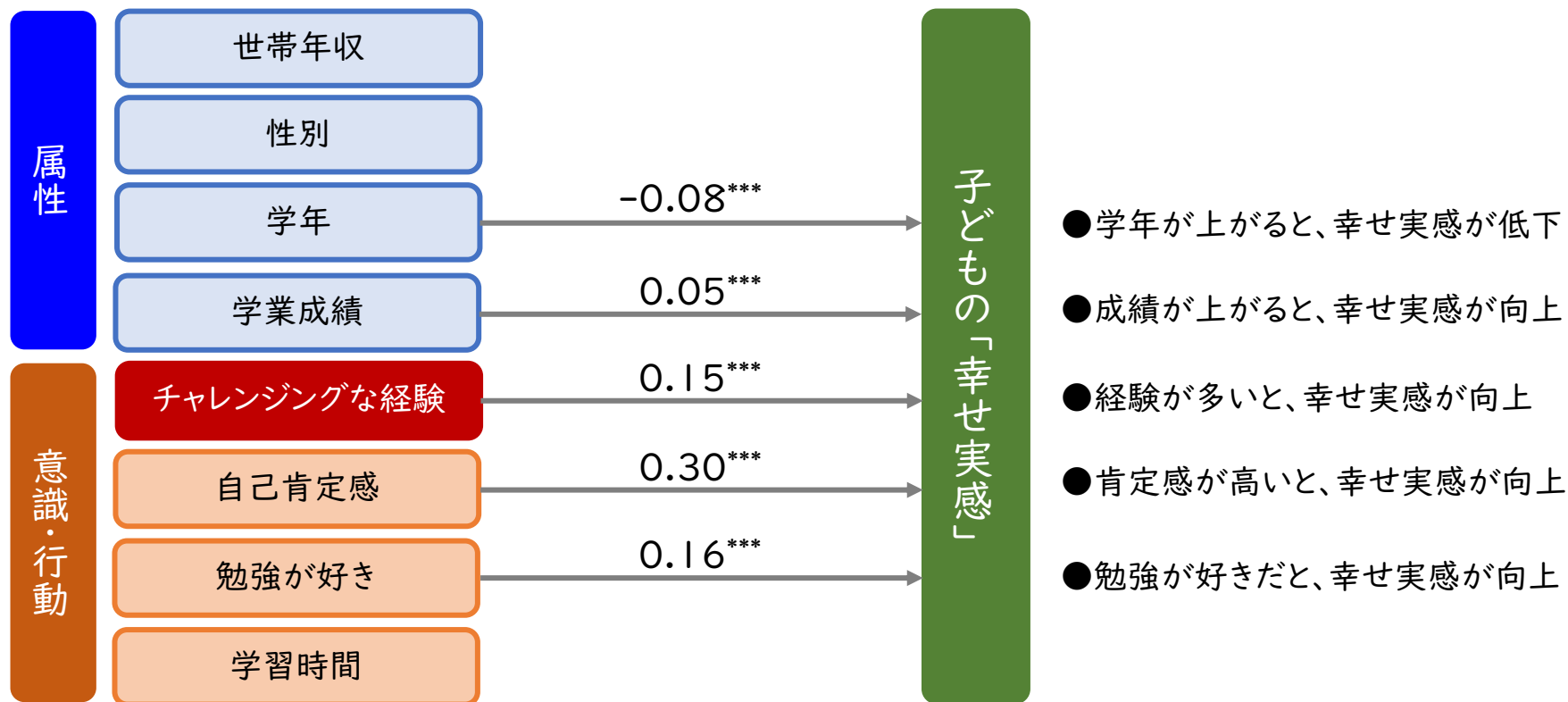
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



③ 幸せ実感の規定要因

チャレンジングな経験は、他の変数を統制しても幸せ実感を高める

● 幸せ実感の規定要因（重回帰分析）【2023年データ】



*分析の対象は、小4生から高3生の子ども7,105名。欠損値があるケースは分析から除外した。

*従属変数: 幸せ実感、調整済みR2乗値=0.212。数値は標準化回帰係数。

*変数の詳細については、次頁を参照。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。



【参考】幸せ実感の規定要因（詳細）

チャレンジングな経験は、他の変数を統制しても幸せ実感を高める

● 幸せ実感の規定要因（重回帰分析）【2023年データ】

	非標準化係数		標準化係数	t 値	有意確率	B の 95.0% 信頼区間		共線性の統計量	
	B	標準誤差	ベータ			下限	上限	許容度	VIF
(定数)	4.344	0.112	0.000	38.638		4.124	4.564		
世帯年収	0.002	0.004	0.005	0.508	0.611	-0.005	0.009	0.946	1.057
性別（女子ダミー）	0.036	0.028	0.014	1.293	0.196	-0.018	0.090	0.995	1.005
子どもの学年	-0.043	0.006	-0.080	-7.134	0.000	-0.055	-0.031	0.869	1.151
学業成績	0.060	0.015	0.047	3.974	0.000	0.031	0.090	0.792	1.262
チャレンジングな経験	0.062	0.005	0.146	12.909	0.000	0.052	0.071	0.859	1.165
自己肯定感	0.456	0.017	0.300	27.521	0.000	0.423	0.488	0.929	1.076
勉強が好き	0.257	0.019	0.159	13.236	0.000	0.219	0.295	0.764	1.308
学習時間	0.000	0.000	-0.013	-1.148	0.251	-0.001	0.000	0.861	1.161

従属変数：幸せ実感、調整済みR2乗値=0.212

● 記述統計

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	変数の説明
幸せ実感	7105	2	8	6.233	1.317	「自分は今、幸せだ」と「自分は将来、幸せになれる」の2項目について、「とてもそう思う」4～「まったくそう思わない」1として合算
世帯年収	7105	1.5	22.5	8.115	3.941	保護者が回答した世帯年収の回答について、「200万円未満」1.5、「200～300万円」2.5…「2000万円以上」22.5のように100万円単位に換算
性別（女子ダミー）	7105	0	1	0.510	0.500	「女子」1、「男子」0とし、「その他」は欠損値
子どもの学年	7105	10	18	13.347	2.454	「小4生」10～「高3生」18
学業成績	7105	1	5	3.463	1.022	国語、算数・数学、理科、社会、英語の5教科（小4生は英語を除く4教科）の5段階の自己評価の平均値
チャレンジングな経験	7105	0	5	1.935	1.510	1年間の「好奇心・探索」「果敢な挑戦」「夢中・没頭」「達成・自信」「将来を考える」の5つの経験について、「あり」1、「なし」0として合計
自己肯定感	7105	1	4	2.728	0.866	「自分の良いところが何かを言うことができる」に対して、「とてもあてはまる」4～「まったくあてはまらない」1とした
勉強が好き	7105	1	4	2.378	0.813	「『勉強』がどれくらい好きですか」に対して、「とても好き」4～「まったく好きではない」1とした
学習時間	7105	0	870	89.569	84.038	「宿題」「宿題以外の家庭学習」「学習塾」の1日当たりの時間を分に換算して合算

*分析の対象は、小4生から高3生の子ども7,105名。欠損値があるケースは分析から除外した。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

ベネッセ教育総合研究所